

令和7年版

消 防 年 報



垂水市消防本部



令和8年刊行

は じ め に

この年報は、垂水市の消防現勢及び令和7年度中の消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するとともに、将来の参考に資するために、編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として歴年をもってあらわし、予算に係のある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

令和8年8月

垂 水 市 消 防 本 部

— 目 次 —

総 括

1	垂水市の位置と地勢	1
2	垂水市の広望	2
3	垂水市消防本部・署及び牛根分遣所の位置	2
4	垂水市の面積及び世帯と人口	3
5	消防車両一覧	4
6	統計	6
7	垂水市消防沿革概要	7
8	分布図	1 6
9	平面図	1 8
1 0	消防本部（署）の市町村相互応援協定	2 0
1 1	消防団の市町村相互応援協定	2 1

組 織

1	組織	2 2
2	事務分掌	2 2
3	垂水市消防本部組織図	2 5
4	歴代消防長	2 6
5	消防職員の階級別年齢	2 7
6	消防職員の在職年数調べ	2 7
7	消防力の基準と現有	2 7
8	消防職員教養状況	2 8
9	消防決算	2 9

消防資機材

1	垂水市消防機器配置状況	3 1
2	消防ポンプ自動車	4 9
3	山林火災用資機材置場	4 9
4	消防水利	4 9
5	特殊資機材配置一覧表	5 0
6	車庫及び機材・資材置場	5 2
7	退避壕	5 2

救急・救助

1	年別救急業務取扱状況	5 3
2	過去 5 年間の救急業務実施状況	5 4
3	時間帯別・曜日別救急出場状況	5 5
4	事故種別年齢区分別搬送人員	5 6
5	被搬送者の疾病程度	5 7
6	現場到着所要時間別出場件数調	5 8
7	収容所要時間別搬送人員調	5 8
8	救急隊員の行った応急処置状況	5 9
9	救助活動	6 0

火 災

1	年別火災発生状況	6 2
2	過去 5 年間の原因別火災件数	6 3
3	令和 7 年中火災発生状況	6 4
4	垂水市における主な建物火災	6 4
5	自主防火団体	6 5

予防・危険物

1	防火対象物現況	6 6
2	危険物施設数	6 7
3	建築同意事務処理状況	6 7

気 象

1	年間降水量	6 8
2	気象	6 8

通 信

1	無線局配置状況	6 9
2	緊急通報内容	7 1

消 防 団

1	歴代消防組頭・警防団長・消防団長	7 3
2	垂水市消防団の出動区分	7 4
3	災害時消防団配置	7 4
4	垂水市消防団編成表	7 5
5	分団別消防ポンプ自動車	7 6
6	分団別小型動力ポンプ	7 6
7	垂水市消防団現勢	7 7
8	階級別団員数	7 8
9	勤続年数別団員数	7 8
1 0	年齢別団員数	7 9
1 1	消防団出動状況	7 9
1 2	消防団員教養状況	8 0
1 3	消防団員の報酬	8 0

総括



1 垂水市の位置と地勢

大隅半島の鹿児島湾に面するほぼ中央部、東経 130 度 42 分、北緯 31 度 29 分に位置し、東は高隈山、鹿屋市輝北町、北東は霧島市福山町に接しています。

また、南は鹿屋市古江町と隣接し、海岸線は延々 37 キロメートルにおよび鹿児島市東桜島町に隣接しています。

人口 約 1 万 3 千人、総面積 162.12 平方キロメートルであり、約 56.9% が山林になっています。およそ 1,000 戸の農家の総耕作面積は 1,240 ヘクタールで、年間平均気温が摂氏 18 度と温暖で果樹、蔬菜園芸に適し、水産および養殖業が盛んです。

また、高隈山麓の雄大な高原、高峠は自生つつじの名所で、その麓に広がる高峠高原、猿ヶ城溪谷は絶好のハイキングコースとなっています。猿ヶ城溪谷は垂水市街地から車で約 10 分の場所にあることから垂水市のプチ秘境と言われています。猿ヶ城溪谷と隣接する「森の駅たるみず」は宿泊施設や調理・加工室、会議室等も完備され体験観光を楽しむことができます。

大隅半島一の温泉郷である当市は、豊富な湯量をほこり、国道 220 号沿いの道の駅たるみず湯つ足り館には全長 60 メートルの、足湯も完成し訪れる人々に安らぎを与えるとともに、大正 3 年の桜島爆発でできた入江は青く美しく、紫の高隈連峰にいだかれる静かな錦江湾に面する大隅半島の玄関口であります。近年ではシーズンを迎えると映画のワンシーンのような風景を楽しむことができる垂水千本イチョウ園が有名です。また、平成 30 年の 11 月には道の駅たるみずはまびらがオープンし新たな観光拠点として賑わっております。

なお、大隅半島の海の交通機関として、本市と対岸鹿児島市を 35 分で結ぶカーフェリーも就航しており、垂水新港が整備され周辺には新興住宅が建並び、鹿児島市のベッドタウンとしてもますます発展しつつあります。





市章

昭和33年10月1日制定。
垂水の「タル」を組み合わせ、
住民の団結と親和の中に飛躍性
を印象づけたもの。



2 垂水市の広望

東西	11.78 キロメートル
南北	23.35 キロメートル
海岸線	37 キロメートル

3 垂水市消防本部・署及び牛根分遣所の位置

消防本部・垂水市消防署

垂水市上町112番地2
東経 130度42分09秒
北緯 31度29分22秒



牛根分遣所

垂水市二川牟田552番地7
東経 130度47分14秒
北緯 31度34分47秒



4 垂水市の面積及び世帯と人口（令和8年4月1日現在）

総面積

162.02 平方キロメートル

世帯数

7,104 世帯

人口

12,588 人

垂水市消防署管轄人口

垂水	柊原	水之上	協和	大野	新城	計
6,968	976	1,219	1,317	104	780	11,364

牛根分遣所管轄人口

境	二川	麓	計
454	436	334	1,224

5 消防車両一覧（令和8年4月1日現在）

（1）本署



タンク 1 号車
（日野 H29 年購入）



タンク 2 号車
（日野 R5 年購入）



ポンプ車
（日野 H27 年購入）



電源照明車
（日野 H24 年購入）



救急 2 号車
（日産 R 7 年購入）



救急 1 号車
（トヨタ H27 年購入）



指令車
(トヨタ H20 年購入)



防災活動車
(トヨタ H27 年購入)

(2) 分遣所



資材搬送車
(ダイハツ H17 年購入)



タンク車
(日野 H22 年購入)



積込車
(ダイハツ R2 年購入)



救急車
(トヨタ H30 年購入)

6 統計（令和8年4月1日現在）



定 員 44 名
職員数 44 名



定 員 311 名
団員数 217 名



火災件数 14 件
死 者 0 名



救急件数 1103 件
搬送人員 1059 名



救助件数 10 件
救助人員 9 名

7 垂水市消防沿革概要

(1) 消防団

明治 初 期	田神村消防2才組発足（15才～30才）
明治20年 1月16日	垂水郷田神村私設消防組発足（20才～40才 幹部44人 組員348人） 頭取 田神 前田八束 同時に 竜吐水 6基 大綱 2筋 高張提灯 1張 とび口 24本 小樽 100個 大旗 1等 を購入出火消防申合せ規約制定
明治25年11月10日	大ポンプ独乙型第114号並びにハンド郷筒石川島製購入
明治27年 2月	垂水村消防組設置指定村勅令第15号を受け、公設消防組発足
大正 3年 1月	桜島爆発にあたり救助活動にあたる
大正11年 4月	協和私設消防組発足
大正13年 3月 1日	牛根村私設消防組発足
大正13年 3月 1日	新城村私設消防組発足
昭和 3年 4月	柊原私設消防組発足
昭和14年 1月24日	勅令（第20号）警防団令施行に基づき垂水村警防団に改組
昭和20年 4月～8月	空襲に対して警防活動
昭和22年 4月30日	勅令（第185号）消防団令施行に基づき垂水町消防団に改組
昭和33年10月 1日	市制施行により垂水市消防団に改組
昭和44年 2月20日	日本消防協会竿頭授受賞
昭和60年 3月 6日	消防庁長官から竿頭授受賞
平成 元年11月17日	水防活動で建設大臣表彰
平成 2年 9月 1日	水防活動で内閣総理大臣表彰
平成 4年 2月13日	全国消防協会表彰旗授与
平成18年 2月24日	防災功労者消防庁長官表彰
平成19年 2月 8日	財団法人日本消防協会竿頭授授与
平成25年 3月 6日	消防庁長官表彰旗授与
令和 2年 3月 3日	日本消防協会竿頭授受賞

(2) 消防本部

昭和39年	6月19日	消防団常備部発足（常備団員4名）
昭和40年	2月1日	常備団員1名増員
昭和40年	4月1日	常備団員1名増員
昭和41年	4月11日	常備団員2名増員
昭和42年	9月1日	常備団員1名増員
昭和43年	6月1日	常備団員5名増員
昭和43年	10月27日	一般加入電話から119番へ変更
昭和44年	4月1日	垂水市消防本部設置条例を制定 垂水市消防本部（署）設立、消防職員15名で発足 初代消防長 町田四郎 初代消防署長 前田幸利
昭和45年	5月1日	消防職員3名増員（計18名）
昭和46年	4月1日	消防職員4名増員（計22名）
昭和46年	9月1日	消防職員異動のため1名採用（計22名）
昭和46年	12月31日	消防職員1名退職（計21名）
昭和47年	4月1日	消防職員3名増員（計24名）
昭和47年	12月1日	2代目消防署長に倉岡弘人就任 消防署次長に杉之尾明就任
昭和48年	1月10日	消防職員1名退職（計23名）
昭和48年	3月22日	消防職員1名退職（計22名）
昭和48年	4月1日	消防署次長に前田真平就任
昭和48年	5月1日	消防職員2名増員（計24名）
昭和50年	1月28日	2代目消防長に枝本豊助就任
昭和50年	3月10日	鹿児島市と消防救急業務相互応援協定締結
昭和50年	4月30日	消防職員1名退職（計23名）
昭和50年	5月1日	鹿屋市と消防救急業務相互応援協定締結
昭和50年	7月5日	消防署次長に高田士朗就任
昭和50年	8月6日	消防職員1名採用（計24名）
昭和50年	8月20日	新城、牛根地区一般加入電話から119番へ変更
昭和51年	9月1日	消防職員10名増員（計34名）
昭和51年	10月1日	牛根分遣所起工式
昭和52年	3月25日	牛根分遣所竣工
昭和52年	4月1日	牛根分遣所消防職員10名で発足 初代牛根分遣所長に立山次雄就任
昭和52年	8月1日	消防本部庶務係長兼消防署次長に宮迫豊治就任
昭和53年	7月1日	消防職員2名増員（計36名）
昭和54年	3月31日	活動火山法に基づき退避豪5ヶ所新設 （脇登、小浜、桜島口、前崎、居世神）
昭和54年	4月1日	2代目牛根分遣所長に坂元清秀就任
昭和56年	4月1日	3代目牛根分遣所長に大迫徳雄就任
昭和56年	7月1日	第3代目消防長に倉岡弘人就任
昭和57年	4月1日	消防本部次長に宮迫豊治就任 消防署次長に立山次雄就任 消防本部庶務係長に西田和則就任

昭和57年	4月	1日	大隅曾於地区と消防救急業務相互応援協定締結
昭和58年	3月31日		倉岡弘人消防長定年退職
昭和58年	4月	1日	第4代目消防長に高田士朗就任
昭和58年	7月	1日	消防本部消防係長に立山次雄就任 消防本部警防係長に坂元清秀就任 消防本部予防係長に葛迫泰明就任
昭和59年	1月	1日	国分地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和59年	4月	1日	消防本部次長に富田武延就任
昭和59年	7月	1日	消防職員1名市長事務部局へ異動のため1名採用（計36名） 消防署長心得に立山次雄就任 牛根分遣所長に西田和則就任 消防本部庶務係長に葛迫泰明就任 消防本部消防係長に坂元清秀就任 消防本部警防救急係長に大迫徳雄就任
昭和59年	7月31日		消防職員1名退職（計35名）
昭和59年	8月21日		消防職員1名増員（計36名）
昭和59年	11月23日		消防職員1名減（計35名）
昭和60年	4月	1日	消防職員2名市長事務部局へ異動のため3名採用（計36名） 消防署長に立山次雄就任 牛根分遣所長に町田昭典就任 第5代目消防長に宮迫豊治就任
昭和63年	4月	1日	消防職員1名市長事務部局へ移動（計35名） 消防本部次長に立山次雄就任 消防本部予防係長に大迫徳雄就任 消防本部庶務係長に水迫暁就任 消防署長に坂元清秀就任 消防本部警防救急係長に町田昭典就任 消防本部消防係長に渕之上清孝就任 牛根分遣所長に小野貢就任
昭和63年	5月20日		鹿児島県総合防災訓練開催地
昭和63年	6月	1日	消防職員1名採用（計36名）
平成2年	4月	1日	消防職員1名市長事務部局へ異動、消防職員1名採用（計36名） 消防本部消防係長に小野貢就任 牛根分遣所長に渕之上清孝就任
平成3年	4月	1日	消防職員2名市長事務部局へ異動（計34名） 第6代目消防長に立山次雄就任 消防本部次長に坂元清秀就任 消防本部予防係長に町田昭典就任 消防署長に大迫徳雄就任 消防本部警防救急係長に小野貢就任 消防本部消防係長に関修三郎就任
平成3年	4月	1日	消防職員2名採用（計36名）
平成4年	1月30日		鹿児島県消防相互応援協定締結
平成4年	4月	1日	消防本部庶務係長に関修三郎就任

平成 4 年 4 月 1 日	消防本部消防係長に渕之上清孝就任 牛根分遣所長に町田博文就任 消防職員 1 名市長事務部局へ異動、消防職員 1 名採用
平成 6 年 4 月 1 日	消防本部警防救急係長に渕之上清孝就任 消防本部消防係長に小野貢就任 牛根分遣所長に中島勤就任 消防職員 6 名増員（計 4 2 名）
平成 7 年 1 月 2 4 日	阪神淡路大震災に救援派遣 電源車 1 台 隊員 3 名（大迫、寺田、岩元）
平成 7 年 3 月 3 1 日	立山次雄消防長退職
平成 7 年 4 月 1 日	第 7 代目消防長に川井田洸就任
平成 7 年 5 月 2 7 日	消防庁長官表彰（阪神淡路救援活動）
平成 8 年 4 月 1 日	牛根分遣所長に関修三郎就任
平成 1 0 年 4 月 1 日	消防本部警防救急係長に重信正治就任 消防本部消防係長に中島勤就任 消防本部庶務係長に宮迫義秀就任
平成 1 0 年 5 月 1 1 日	救急救命士資格取得 1 名（才原一生）
平成 1 0 年 1 1 月 2 5 日	救急救命士資格取得 1 名（後迫浩一郎） 消防職員 1 名市長事務部局へ異動
平成 1 1 年 1 0 月 1 日	第 8 代目消防長に富田武延就任 牛根分遣所長に渕之上清孝就任 消防本部第 1 消防係長に小野貢就任 消防本部第 1 警防救急係長に関修三郎就任 消防本部第 2 消防係長に中島勤就任 消防本部第 2 警防救急係長に重信正治就任 消防職員 1 名減（計 4 1 名）
平成 1 1 年 1 1 月 2 7 日	富田武延消防長退職
平成 1 2 年 4 月 1 日	第 9 代目消防長に坂元清秀就任 消防本部次長兼署長に大迫徳雄就任 消防本部消防係長に小野貢就任 消防本部救急救助係長に関修三郎就任 消防本部警防係長に中島勤就任 消防本部庶務係長に重信正治就任 消防本部消防団係長に宮迫義秀就任
平成 1 2 年 4 月 1 2 日	救急救命士資格取得 1 名（田中昭弘）
平成 1 2 年 1 1 月 1 7 日	救急救命士資格取得 1 名（迫田八州夕起）
平成 1 3 年 4 月 1 日	消防職員 1 名市長事務部局へ異動、消防職員 3 名採用
平成 1 3 年 1 2 月 1 4 日	救急救命士資格取得 1 名（市來幸三）
平成 1 4 年 4 月 1 日	牛根分遣所長に小野貢就任 消防本部消防団係長に渕之上清孝就任 消防本部警防係長に野元豊一就任 消防本部消防係長に宮迫義秀就任
平成 1 4 年 9 月 1 日	新消防庁舎（消防本部、消防団）落成移転 垂水市上町 1 1 2 番地 2
平成 1 4 年 1 2 月 3 1 日	消防職員 1 名退職（計 4 0 名）
平成 1 5 年 3 月 3 1 日	坂元清秀消防長退職（計 3 9 名）
平成 1 5 年 4 月 1 日	消防職員 2 名採用（計 4 1 名）
平成 1 5 年 4 月 1 日	第 1 0 代目消防長に大迫徳雄就任

	消防本部次長兼署長に町田昭典就任 牛根分遣所長に関修三郎就任 消防本部消防係長に小野貢就任 消防本部予防係長に北迫和夫就任
平成15年 5月 8日	救急救命士資格取得1名（丸山悟）
平成15年 7月10日	消防職員1名減（計40名）
平成15年11月30日	消防職員1名退職（計39名）
平成16年 4月 1日	消防職員2名採用（計41名） 消防本部救急救助係長に松山晃就任
平成16年10月31日	消防職員1名退職（計40名）
平成17年 4月 1日	消防本部予防係長に久留周一就任
平成17年 4月30日	消防職員1名退職（計39名）
平成18年 3月31日	消防職員1名退職（計38名）
平成18年 4月 1日	消防職員2名採用（計40名） 分遣所長に野元豊一就任 総務課消防団係長に永田稔就任
平成18年 7月 1日	課制施行 総務課（3係） 警防課（3係） 総務課長に重信正治就任 警防課長に関修三郎就任
平成19年 3月31日	大迫徳雄消防長退職（計39名）
平成19年 4月 1日	消防職員1名採用（計40名） 第11代消防長に町田昭典就任 消防本部次長兼署長に関修三郎就任 警防課長兼警防係長に宮迫義秀就任 総務課課長補佐兼消防係長に野元豊一就任 警防課課長補佐兼牛根分遣所長に松山晃就任 警防課救急救助係長に永田稔就任 総務課消防団係長に川原通就任 総務課庶務係長に寺田敏正就任
平成20年 4月 1日	緊急消防援助隊消防隊1隊登録 警防課長兼救急救助係長に宮迫義秀就任 総務課課長補佐兼消防団係長に野元豊一就任 警防課長補佐兼警防係長に松山晃就任 警防課長補佐兼牛根分遣所長に永田稔就任 総務課消防係長に川原通就任
平成21年 1月 1日	第12代消防長に関修三郎就任
平成21年 3月31日	消防職員2名退職（計38名）
平成21年 4月 1日	消防職員4名採用（計42名） 消防本部次長兼署長に宮迫義秀就任 総務課長に野元豊一就任 警防課長兼警防係長に松山晃就任 総務課長補佐兼庶務係長に寺田敏正就任 警防課長補佐兼予防係長に久留周一就任 総務課長補佐兼消防団係長に永田稔就任 総務課消防係長に川原通就任 牛根分遣所長に二川茂也就任

平成22年 1月 1日	警防課救急救助係長に迫田八州夕起就任
平成22年 3月31日	第13代消防長に宮迫義秀就任
平成22年 4月 1日	消防職員2名退職（計40名）
	消防職員2名（救急救命士有資格者1名含）採用（計42名）
	消防本部次長兼署長に野元豊一就任
	総務課長に松山晃就任
	警防課長に永田稔就任
	牛根分遣所長に寺田敏正就任
	総務課消防団係長に二川茂也就任
	警防課予防係長に平野照実就任
	警防課警防係長に迫田八州夕起就任
	警防課救急救助係長に後迫浩一郎就任
平成22年 5月 1日	消防職員2名（救急救命士有資格者1名含）採用（計44名）
平成22年10月 1日	総務課消防団係長に葛迫英司就任
平成23年 3月31日	消防職員2名退職（計42名）
平成23年 3月11日	総務課消防団係長に葛迫英司就任
	東日本大震災に緊急消防援助隊 車両1台 隊員5名を派遣 (タンク2号車 永田・岩元・湊崎・迫田仁・港)
平成23年 4月 1日	消防職員2名採用（計44名）
	牛根分遣所長に迫田八州夕起就任
	警防課警防係長に才原一生就任
平成24年 3月31日	消防職員3名退職（計41名）
平成24年 4月 1日	消防職員3名採用（計44名）
	警防課長に迫田八州夕起就任
	総務課消防係長に田中昭弘就任
	牛根分遣所長に大坪広幸就任
平成25年 3月 6日	消防庁長官表彰旗授与
平成25年 3月31日	宮迫義秀消防長退職（計43名）
	消防職員1名退職（計42名）
平成25年 4月 1日	消防職員1名採用（計43名）
	第14代消防長に松山晃就任
	消防本部次長兼署長に迫田八州夕起就任
	総務課長兼庶務係長に後迫浩一郎就任
	警防課長に平野照実就任
	警防課長補佐兼牛根分遣所長に葛迫英司就任
	総務課長補佐兼消防係長に大坪広幸就任
	総務課長補佐兼消防団係長に才原一生就任
	警防課救急救助係長に田中昭弘就任
	警防課予防係長に市來幸三就任
	警防課警防係長に岩元昭一就任
平成25年 4月17日	救急救命士資格取得2名（港浩久・上野潤也）
平成25年 5月 1日	消防職員1名（救急救命士有資格者）採用（計44名）
平成25年 8月31日	消防職員1名退職（計43名）
平成26年 3月31日	松山晃消防長退職（計42名）
平成26年 3月31日	消防職員1名退職（計41名）
平成26年 4月 1日	消防職員3名（救急救命士有資格者1名含）採用（計44名）

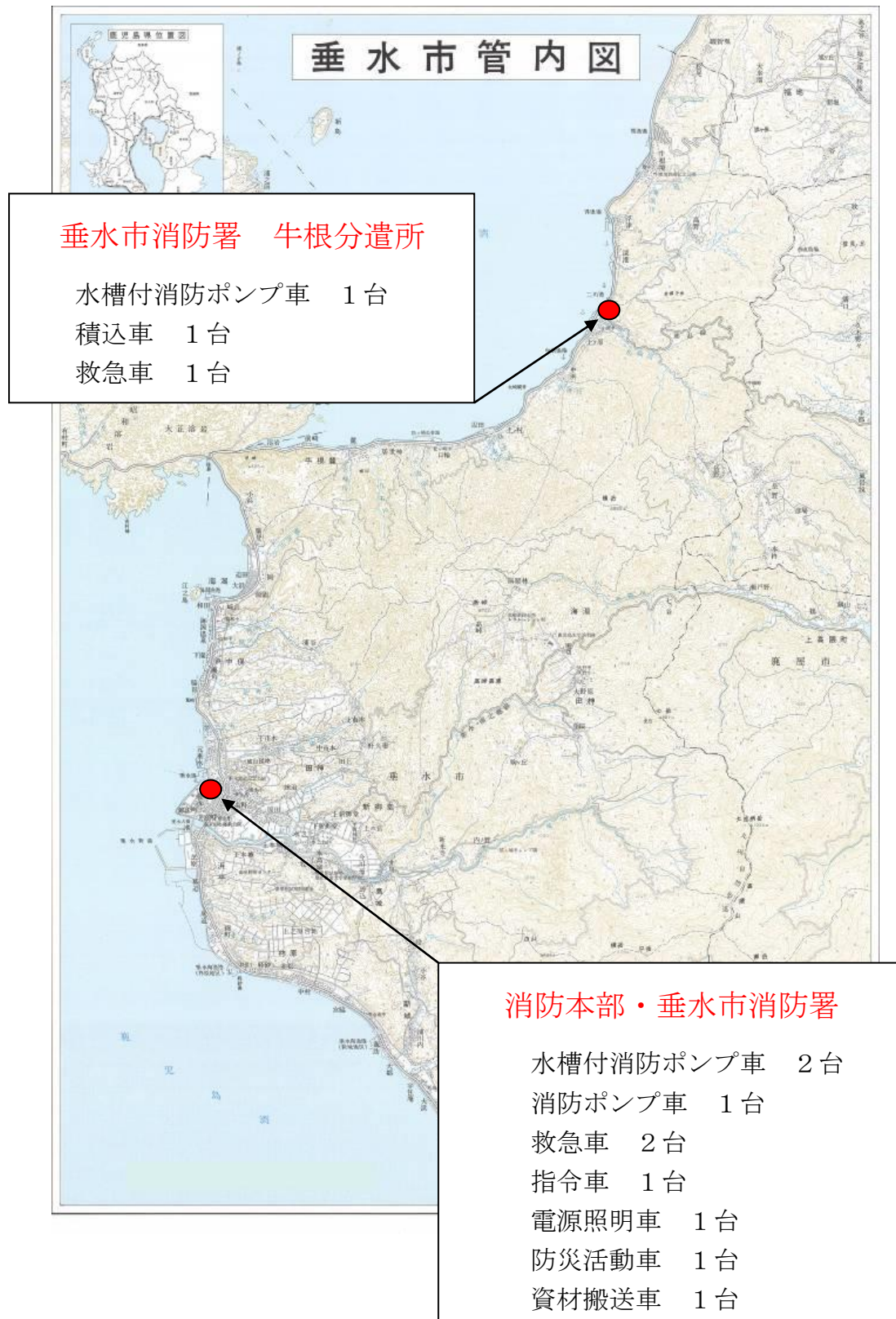
平成26年 4月 1日	第15代消防長に迫田八州夕起就任 消防本部次長兼署長に後迫浩一郎就任 総務課長兼消防係長に才原一生就任 警防課長に大坪広幸就任 総務課長補佐兼消防団係長に葛迫英司就任 総務課庶務係長に坂元隆博就任 牛根分遣所長に内田勝英就任
平成26年 4月14日	救急救命士資格取得1名（宮迫満）
平成26年10月 1日	総務課消防係長に湊崎浩一就任
平成27年 3月31日	迫田八州夕起消防長退職（計43名）
平成27年 3月31日	消防職員1名退職（計42名）
平成27年 4月 1日	消防職員1名採用（計43名） 第16代消防長に前木場強也就任（市長事務部局より異動）（計44名） 総務課長兼消防団係長に才原一生就任
平成27年 4月10日	救急救命士資格取得1名（福重俊）
平成27年10月 1日	総務課消防団係長に杵田稔就任
平成28年 3月31日	前木場強也消防長退職（計43名）
平成28年 4月 1日	第17代消防長に後迫浩一郎就任 消防本部次長兼署長に才原一生就任 牛根分遣所長に湊崎浩一就任 総務課消防係長に内田勝英就任
平成28年 6月 1日	救急救命士資格取得1名（前原悠）
平成29年 4月 1日	総務課長に大坪広幸就任 警防課長兼救急係長に田中昭弘就任 警防課長補佐兼予防係長に市來幸三就任
平成29年 4月12日	救急救命士資格取得1名（外村敬彦）
平成29年 6月30日	消防職員1名退職（計42名）
平成30年 4月 1日	消防職員1名採用（計43名） 総務課庶務係長に岩元昭一就任 警防課警防係長に内田勝英就任 総務課消防係長に坂元隆博就任 警防課救急係長に丸山悟就任
平成31年 4月 1日	消防職員1名採用（計44名） 総務課消防団係長に湊崎浩一就任 牛根分遣所長に杵田稔就任
平成31年 4月15日	救急救命士資格取得1名（園田幸平）
令和 元年 8月26日	指導救命士資格取得1名（港浩久）
令和 元年12月31日	消防職員1名退職（計43名）
令和 2年 4月 1日	総務課長補佐に岩元昭一就任 庶務係長に脇秀樹就任（市長事務部局より異動）（計44名）
令和 2年 4月13日	救急救命士資格取得1名（内村雄太）
令和 3年 1月31日	消防職員1名退職（43名）
令和 3年 3月31日	消防職員1名退職（42名）
令和 3年 4月 1日	消防職員2名採用（44名） 総務課長に田中昭弘就任 警防課長に市來幸三就任

令和 3年 4月 1日	警防課長補佐兼予防係長に岩元昭一就任 総務課消防係長に杳田稔就任 牛根分遣所長に坂元隆博就任
令和 3年 4月 19日	救急救命士資格取得 1 名（永野孝一）
令和 4年 3月 31日	消防職員 2 名退職（計 4 2 名）
令和 4年 4月 1日	消防職員 1 名市長事務部局へ移動（計 4 1 名） 消防職員 3 名採用（計 4 4 名） 消防本部次長兼署長に田中昭弘就任 総務課長に市來幸三就任 警防課長に岩元昭一就任 警防課主幹兼予防係長に内田勝英就任 総務課主幹兼庶務係長に湊崎浩一就任 警防課警防係長に下瀬智寛就任 総務課消防団係長に西原隆明就任 総務課消防係長に厚地政寛就任 牛根分遣所長に大重秀嗣就任
令和 4年 6月 2日	救急救命士資格取得 1 名（新福拓也）
令和 5年 3月 31日	消防職員 1 名退職（計 4 3 名）
令和 5年 4月 1日	消防職員 2 名採用（計 4 4 名） 第 1 8 代消防長に田中昭弘就任 消防本部次長兼署長兼警防課長に市來幸三就任 総務課長に岩元昭一就任 警防課長補佐兼予防係長に内田勝英就任 総務課長補佐兼庶務係長に湊崎浩一就任 総務課主幹に杳田稔就任 警防課主幹に坂元隆博就任 警防課主査予防係兼救急係に後迫浩一郎就任（再任用）（職員定数外） 水迫勇樹消防司令補 鹿児島県消防学校 教官派遣（職員定数外） （期間：令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで）
令和 5年 4月 28日	救急救命士資格取得 1 名（川畑 亮）
令和 5年 10月 18日	消防職員 1 名退職（計 4 3 名）
令和 6年 3月 31日	消防職員 1 名退職（計 4 2 名）
令和 6年 4月 1日	消防職員 2 名採用（計 4 4 名） 第 1 9 代消防長に市來幸三就任 消防本部署長兼次長に岩元昭一就任 総務課長に湊崎浩一就任 警防課長に内田勝英就任 総務課主幹兼庶務係長に坂元隆博就任 牛根分遣所長に丸山悟就任 総務課長補佐兼消防団係長に杳田稔就任 警防課第 1 予防係長に大重秀嗣就任 総務課消防係長に下瀬智寛就任 総務課警防係長に厚地政寛就任 警防課救急係長に西原隆明就任 警防課第 2 予防係長に迫田仁一就任
令和 7年 3月 31日	消防職員 2 名退職（計 4 2 名）

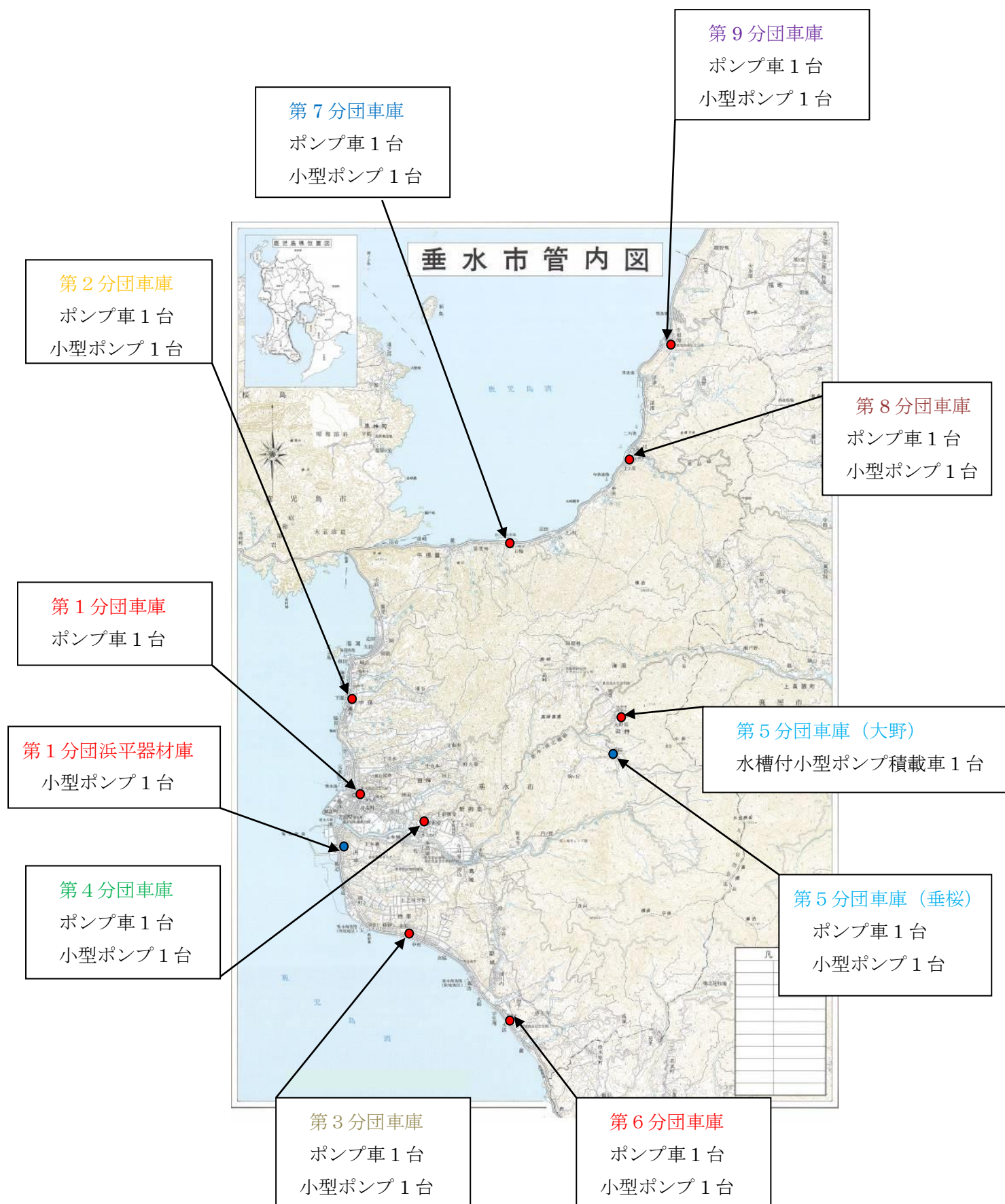
令和 7年 4月 1日	消防職員 1 名採用（計 4 3 名） 第 2 0 代消防長に松尾智信就任（市長事務部局より異動）（計 4 4 名） 消防本部次長兼警防課長に坂元隆博就任 消防署署長に坂元隆博就任 総務課長兼庶務係長に内田勝英就任 警防課長補佐兼救急係長に杵田稔就任 総務課消防団係長に西原隆明就任 総務課主幹に市來幸三就任（役職定年）
令和 7年 4月 25日	救急救命士資格取得 1 名（中窪大介）
令和 7年 7月 16日	牛根分遣所長に杵田稔就任 警防課救急係長に宮迫満就任
令和 8年 3月 31日	消防職員 4 名退職（計 4 0 名） 水迫勇樹消防司令補 鹿児島県消防学校 教官派遣任期終了（計 4 1 名）
令和 8年 4月 1日	消防職員 1 名市長事務部局へ異動（計 4 0 名） 消防職員 4 名（救急救命士有資格者 1 名含）採用（計 4 4 名） 第 2 1 代消防長に坂元隆博就任 消防本部次長兼警防課長に下瀬智寛就任 消防署署長に下瀬智寛就任 総務課長兼庶務係長に杵田稔就任 総務課長補佐兼消防団係長に大重秀嗣就任 牛根分遣所長に西原隆明就任 警防課予防係長に丸山悟就任 警防課予防係長に迫田仁一就任 総務課消防係長に上野潤也就任

8 分布図

垂水市消防本部分布図



垂水市消防団分布図



9 平面図

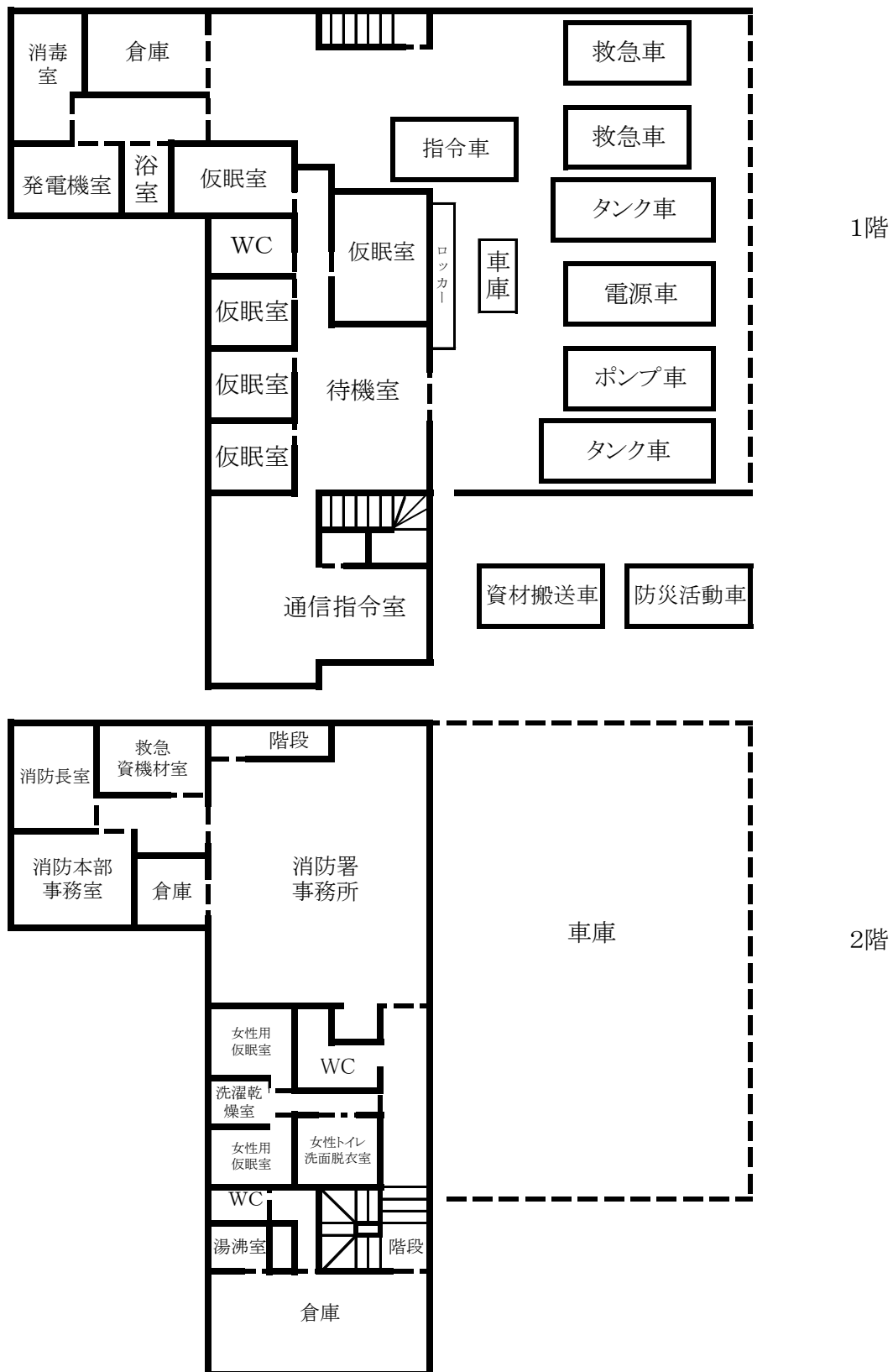
(1) 消防本部・消防署平面図

敷地面積 834.47㎡

建築延面積 830.33㎡ (鉄骨コンクリートブロック造
亜鉛メッキ鋼板・スレート葺2階建)

1階 508.99㎡

2階 321.34㎡



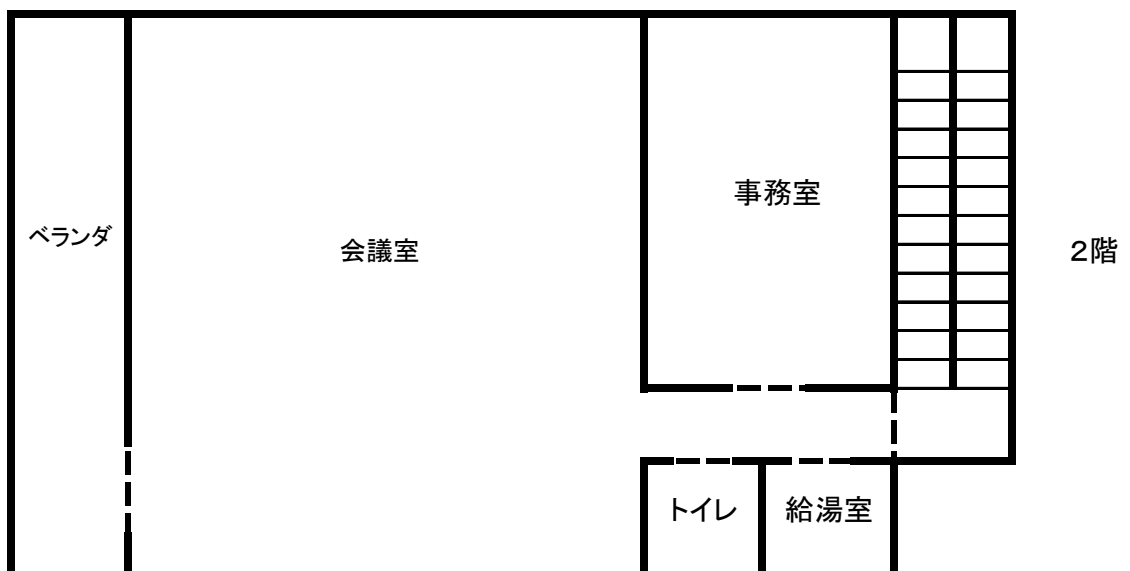
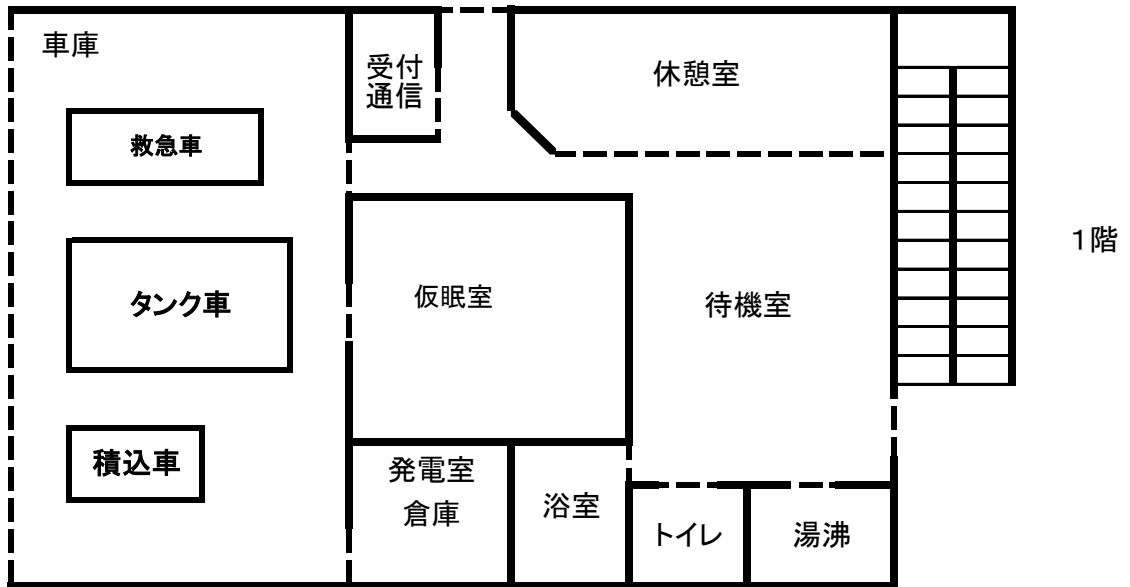
(2) 牛根分遣所平面図

敷地面積 777.71㎡

建築延面積 320.0㎡

1階 159.0㎡

2階 161.0㎡



10 消防本部(署)の市町村相互応援協定

(1) 消防・救急業務相互応援協定	鹿児島市	昭和 50 年 3 月 10 日
	(覚書)	平成 18 年 8 月 1 日
〃	鹿屋市	昭和 50 年 5 月 1 日
〃	大隅肝属地区消防組合	昭和 52 年 4 月 1 日
〃	大隅曾於地区消防組合	昭和 57 年 4 月 1 日
	(再締結)	平成 29 年 4 月 24 日
〃	霧島市消防局	平成 17 年 8 月 1 日
(2) 鹿児島県消防・防災ヘリコプター 応援協定	鹿児島県	平成 10 年 6 月 26 日
(3) 救急救命士の救急救命処置に伴 う協定	垂水市立医療センター 垂水中央病院	平成 15 年 11 月 27 日
(4) 医師の指示及び事後検証に関す る覚書	垂水市立医療センター 垂水中央病院	平成 16 年 2 月 23 日
(5) 消防相互応援協定	霧島市	平成 17 年 12 月 1 日
(6) 鹿児島県ドクターヘリ運航事業に おける救急車搬送に関する相互 応援協定	鹿児島県	平成 23 年 12 月 22 日
(7) 救急隊に対する指示及び指導・ 助言に関する協定	垂水市立医療センター 垂水中央病院	平成 29 年 4 月 17 日
(8) 救急隊に対する指示及び指導・ 助言並びに事後検証に関する協 定	医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	平成 30 年 4 月 1 日
〃	県民健康プラザ 鹿屋医療センター	〃

〃	医療法人青仁会 池田病院	令和 2年 1月 17 日
〃	社会医療法人緑泉会 米盛病院	令和 8年 2月 1日
(9)鹿児島県内消防相互応援協定	県内消防本部、 三島村、十島村	平成 30 年 12 月 25 日
(10)ドクターカー運用に関する協 定書	医療法人青仁会 池田病院	令和 3年 10 月 1日

11 消防団の市町村相互応援協定

(1) 消防相互応援協定	鹿屋市	平成 4年 4月 1日
--------------	-----	-------------

組 織



1 組 織

(令和8年4月1日現在)

階 級 配 置		消 防 吏 員						
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計
消 防 本 部	消 防 長	1						1
	次 長		1					1
	総 務 課 長		1					1
	警 防 課 長		(1)					(1)
	総 務 課 主 幹		1					1
	警 防 課 主 幹		(2)					(2)
	庶 務 係		(1)	1	(2)		(4)	1 (7)
	消 防 団 係		(1)	(2)	(1)		(2)	(6)
	予 防 係			1 (1)	(3)		(2)	1 (6)
	消 防 係			(1)	(1)	(3)	(1)	(6)
	警 防 係		(1)		(4)			(5)
	救 急 係			(1)	(2)	(1)	(3)	(7)
	小 計	1	3 (5)	2 (5)	(1 3)	(4)	(1 2)	6 (3 9)
署	署 長		(1)					(1)
	次 席							
	分隊長・分遣所長		3					3
	隊 員 ・ 班 員			6	1 3	4	1 2	3 5
	小 計		3 (1)	6	1 3	4	1 2	3 8 (1)
合 計		1	6 (5)	8 (5)	1 3 (1 3)	4 (4)	1 2 (1 2)	4 4 (3 9)

() は兼務者

2 事 務 分 掌

(1) 総 務 課 庶 務 係

- 1 消防行政運営の総合調整に関する企画及び立案に関すること。
- 2 消防予算の編成と執行に関すること。
- 3 消防本部及び消防署の組織に関すること。
- 4 消防職員の人事に関すること。
- 5 消防職員及び消防団員等の公務災害に関すること。
- 6 消防職員の福利厚生及び保健に関すること。
- 7 消防本部の文書管理及び公印の保管に関すること。
- 8 消防本部の情報公開及び個人情報保護に関すること。
- 9 消防職員の教養・研修に関すること。
- 10 消防本部及び消防団の会議及び儀式に関すること。
- 11 行政財産の営繕管理に関すること。
- 12 消防職員の被服及び貸与品に関すること。
- 13 消防職員委員会に関すること。
- 14 消防職員の賞罰に関すること。
- 15 例規の整備に関すること。

- 16 消防年報及び消防統計に関すること。
- 17 消防関係外部団体・外部機関との連絡調整に関すること。
- 18 他に係に属しないもの。

(2) 総務課 消防団係

- 1 消防団員の人事に関すること。
- 2 消防団員の賞罰に関すること。
- 3 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- 4 消防団員名簿の管理に関すること。
- 5 消防団員の教養・訓練に関すること。
- 6 消防団員の出場者命令書に関すること。
- 7 消防団員の福利厚生及び保健に関すること。
- 8 消防団員の運営、企画及び立案に関すること。
- 9 他の係に属しない消防団に関すること。

(3) 総務課 消防係

- 1 消防水利及び地理に関すること。
- 2 消防用車両及び資機材の整備点検及び維持管理に関すること。
- 3 消防用車両及び資機材の燃料管理に関すること。
- 4 消防用車両及び資機材の研究、改善及び仕様に関すること。
- 5 消防施設、備品及び庁舎等の管理に関すること。
- 6 その他消防施設及び資機材に関すること。

(4) 警防課 警防係

- 1 消防計画及び消防防災に関すること。
- 2 火災その他の災害の警戒防ぎよに関すること。
- 3 救助業務に関すること。
- 4 災害活動の非常召集に関すること。
- 5 消防職員の訓練に関すること。
- 6 火災警報及び特別警戒に関すること。
- 7 消防応援・授援に関すること。
- 8 消防通信・指令業務に関すること。
- 9 消防気象業務に関すること。
- 10 自主防災組織の指導・育成に関すること。
- 11 警防広報に関すること。
- 12 その他警防業務に関すること。

(5) 警防課 予防係

- 1 火災予防の企画に関すること。
- 2 火災予防査察に関すること。
- 3 消防建築同意に関すること。
- 4 防火管理者の育成・指導に関すること。
- 5 火災予防条例に基づく火災予防指導に関すること。
- 6 消防危険物施設等の許認可、承認及び液化石油ガスの意見書並びに火薬類煙火の消費許可に関すること。
- 7 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 8 火災の罹災証明に関すること。
- 9 防火協力団体に関すること。

- 10 防火思想の啓蒙及び広報に関すること。
- 11 その他火災予防に関すること。

(6) 警 防 課 救 急 係

- 1 救急業務の統計及び報告に関すること。
- 2 救急用資機材等の維持管理に関すること。
- 3 救急業務に必要な外部機関との連絡・調整に関すること。
- 4 救急応急手当の普及啓発活動の推進に関すること。
- 5 その他救急業務に関すること。

(7) 消 防 署

消防署における事務は、消防本部各係りの補充事務を処理するとともに、次の事務を分掌する。

- 1 通信受付事務に関すること。
- 2 防火広報及び予防、警防査察の実施に関すること。
- 3 消防情報及び消防相談に関すること。
- 4 火災その他の災害の警戒防ぎょに関すること。
- 5 署員、団員の教養訓練に関すること。
- 6 自衛消防隊の訓練指導に関すること。
- 7 消防水利の維持点検に関すること。
- 8 消防地理の実情把握に関すること。
- 9 消防機械器具の運用と維持点検に関すること。
- 10 消防通信機器の運用と維持点検に関すること。
- 11 救急業務及び救急用資機材の維持点検に関すること。
- 12 消防気象情報の受理、伝達に関すること。
- 13 その他、消防業務の実働に関すること。

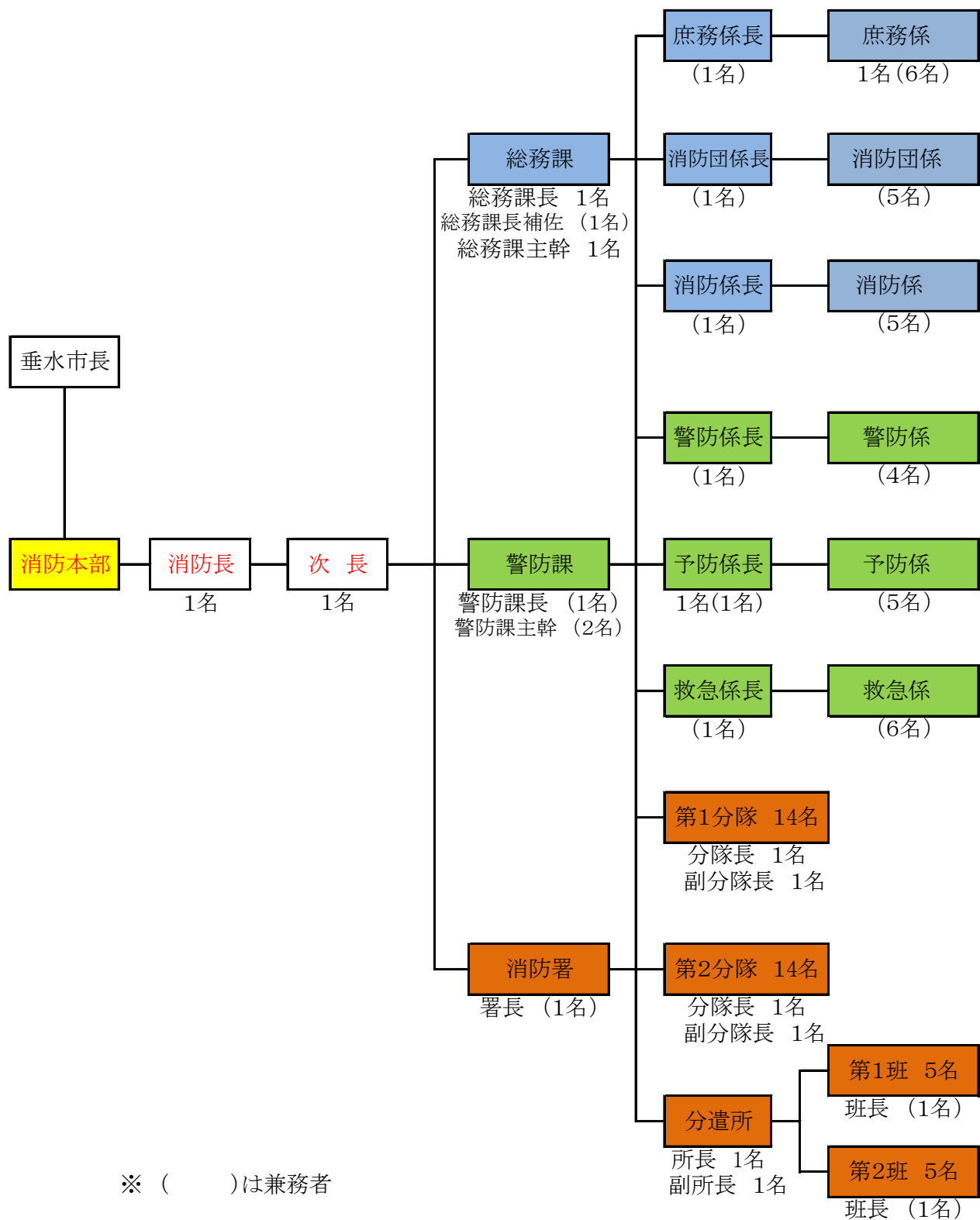
(8) 分 遣 所

分遣所における事務は、本署の補充事務とし、次に掲げる事務を行う。

- 1 通信、受付事務に関すること。
- 2 火災予防査察に関すること。
- 3 消防危険物関係の指導取締りに関すること。
- 4 火災、その他の火災の警戒、防ぎょに関する事。
- 5 消防水利及び地理に関すること。
- 6 署員、団員の教養訓練に関すること。
- 7 消防機械器具の整備保存に関すること。
- 8 救急業務及び救急用資機材の維持点検に関すること。
- 9 火災、その他の火災の情報収集伝達に関すること。
- 10 消防気象情報の収集伝達に関すること。
- 11 その他、区域内の消防業務に関すること。

3 垂水市消防本部組織図(令和8年4月1日)

職員数 44名(役職定年1名)



4 歴代消防長

(令和8年4月1日現在)

代	氏 名	期 間		備 考
		自	至	
1	町 田 四 朗	昭 和 44 年 4 月 1 日	昭 和 47 年 11 月 30 日	垂水市長(兼務)
2	枝 本 豊 助	昭 和 50 年 1 月 28 日	昭 和 56 年 6 月 30 日	垂水市長(兼務)
3	倉 岡 弘 人	昭 和 56 年 7 月 1 日	昭 和 58 年 3 月 31 日	
4	高 田 士 朗	昭 和 58 年 4 月 1 日	昭 和 62 年 3 月 31 日	
5	宮 迫 豊 治	昭 和 62 年 4 月 1 日	平 成 3 年 3 月 31 日	
6	立 山 次 雄	平 成 3 年 4 月 1 日	平 成 7 年 3 月 31 日	
7	川 井 田 洸	平 成 7 年 4 月 1 日	平 成 11 年 3 月 31 日	
8	富 田 武 延	平 成 11 年 4 月 1 日	平 成 12 年 3 月 31 日	
9	坂 元 清 秀	平 成 12 年 4 月 1 日	平 成 15 年 3 月 31 日	
10	大 迫 徳 雄	平 成 15 年 4 月 1 日	平 成 19 年 3 月 31 日	
11	町 田 昭 典	平 成 19 年 4 月 1 日	平 成 20 年 12 月 31 日	
12	関 修 三 郎	平 成 21 年 1 月 1 日	平 成 21 年 12 月 31 日	
13	宮 迫 義 秀	平 成 22 年 1 月 1 日	平 成 25 年 3 月 31 日	
14	松 山 晃	平 成 25 年 4 月 1 日	平 成 26 年 3 月 31 日	
15	迫田八州夕起	平 成 26 年 4 月 1 日	平 成 27 年 3 月 31 日	
16	前 木 場 強 也	平 成 27 年 4 月 1 日	平 成 28 年 3 月 31 日	
17	後 迫 浩 一 郎	平 成 28 年 4 月 1 日	令 和 5 年 3 月 31 日	
18	田 中 昭 弘	令 和 5 年 4 月 1 日	令 和 6 年 3 月 31 日	
19	市 來 幸 三	令 和 6 年 4 月 1 日	令 和 7 年 3 月 31 日	
20	松 尾 智 信	令 和 7 年 4 月 1 日	令 和 8 年 3 月 31 日	
21	坂 元 隆 博	令 和 8 年 4 月 1 日	在 任 中	

5 消防職員の階級別年齢

(令和8年4月1日現在)

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18～25 歳					1	1 1	1 2
26～30 歳						1	1
31～35 歳				1	2		3
36～40 歳			1	8	1		1 0
41～45 歳			4	4			8
46～50 歳		3	3				6
51 歳以上	1	3					4
計	1	6	8	1 3	4	1 2	4 4

6 消防職員の在職年数調べ

(令和8年4月1日現在)

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
0～5 年						1 2	1 2
6～10 年					1		1
11～15 年				6	3		9
16～20 年				7			7
21 年以上	1	6	8				1 5
計	1	6	8	1 3	4	1 2	4 4

7 消防力の基準と現有

(令和8年4月1日現在)

種別	署所	消防ポンプ数	救急車数	非常用 消防ポンプ数	非常用 救急車数
基準	2	3	2	0	0
現有	2	3	2	1	1

8 消防職員教養状況

(令和8年4月1日現在)

種別 年度	消防 大学 校	救急救命 研修所			実務研修			県消防学校															計
		東 京	九 州	養成 指導 救命 研修士	警 防	救 急	予 防	初 任 科	救 急 員 科	審 査 員 研 修	無 線 科	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	予 防 科	予 防 査 察 科	火 災 調 査 科	救 助 科	救 急 科	救 急 標 準 課 程	救 急 Ⅱ 課 程	警 防 科	体 験 研 修	
3	1							1	1		2			2			2			2			11
4	1							2	2											2			7
5								1	1											4			6
6								3	3					2						3			11
7								3	3											4			10
8																				4			4
9			1							6				2			1		1	2			13
10			1													1			1	2			5
11			1													1			1	2			5
12			1													1			1	2			5
13			1								1		1			1			2				6
14			1					3		2	1								1				8
15											1								2				3
16								2															2
17								2										2					4
18								1										2					3
19								1										1					2
20								1		4								2					7
21								4		4								2					10
22								4								1		2					7
23								2							1		1	2					6
24		1	1					3		4								2					11
25			1					2										3					6
26		1						3		4								2					10
27			1					1							1		1	2					6
28			1		1					2					1	1	1						7
29						1									1	1	2						5
30			1				1	1		4								1					8
元			1	1	1										1		1						5
2			1					1				1				1	1	1					6
3			1					2		3					1		1						8
4	1		1	2				3										3					10
5								2										2					4
6			1					2		4						1	1	2				2	13
7			1					1							1	1		1				2	7
計	3	2	17	3	2	1	1	51	10	37	5	1	1	6	7	10	12	32	9	27	0	4	241

9 消防決算

(1) 消防費歳出比較

款	消 防 費	項	消 防 費	(単位:円)	
目	節		R5年度決算	R6年度決算	増 減
1	常備消防費		379,845,067	396,162,920	16,317,853
	2	給料	160,316,479	168,033,600	7,717,121
	3	職員手当等	113,869,072	123,313,334	9,444,262
	4	共済費	55,105,713	57,699,114	2,593,401
	8	報償費	35,115	38,808	3,693
	9	旅費	1,351,290	1,681,000	329,710
	11	需用費	11,543,660	12,747,353	1,203,693
	12	役務費	5,475,956	5,657,357	181,401
	13	委託料	26,489,877	17,508,792	△ 8,981,085
	14	使用料及び賃借料	2,031,408	2,160,035	128,627
	18	備品購入費	2,831,100	4,503,355	1,672,255
	19	負担金補助及び交付金	418,997	2,656,372	2,237,375
	27	公課費	376,400	163,800	△ 212,600
2	非常備消防費		27,166,661	31,553,138	4,386,477
	1	報酬	15,866,180	17,835,700	1,969,520
	8	報償費	186,960	203,793	16,833
	9	旅費	770,430	1,019,690	249,260
	11	需用費	1,436,743	2,422,050	985,307
	12	役務費	232,579	274,388	41,809
	13	委託料	168,720	168,720	0
	18	備品購入費	1,168,640	1,952,300	783,660
	19	負担金補助及び交付金	7,161,609	7,149,209	△ 12,400
	27	公課費	65,600	434,600	369,000
3	消防施設費		30,820,758	277,034,838	246,214,080
	11	需用費	875,984	758,592	△ 117,392
	12	役務費	0	0	0
	13	委託料	9,625,000	167,580,000	157,955,000
	15	工事請負費	17,578,000	69,902,000	52,324,000
	16	原材料費	5,964	30,156	24,192
	18	備品購入費	671,440	36,327,940	35,656,500
	19	負担金補助及び交付金	2,000,000	2,000,000	0
	消防防災等施設整備事業費		0	0	0
	15	工事請負費	0	0	0
	18	備品購入費	0	0	0
	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業		590,040	610,500	20,460
	18	備品購入費	590,040	610,500	20,460

(2) 一般会計と消防費決算の割合

(単位:円) 消防費は全体額

区分 年度	一般会計	消防費	消防費に係る(C) 基準財政需要額	割合 %		消防費の前年度比較	
	決算額(A)	決算額(B)		B/A	B/C	増減	比較
平成10年度	10,648,410,489	420,248,319	307,455,000	3.95%	136.69%	-26,916,205	93.98%
平成11年度	11,542,959,328	421,089,282	310,349,000	3.65%	135.68%	840,963	100.20%
平成12年度	10,500,257,404	422,097,133	311,451,000	4.02%	135.53%	1,007,851	100.24%
平成13年度	10,256,632,303	510,383,516	304,426,000	4.98%	167.65%	88,286,383	120.92%
平成14年度	10,216,934,124	471,176,064	306,835,000	4.61%	153.56%	-39,207,452	92.32%
平成15年度	9,263,396,031	408,382,991	302,235,000	4.41%	135.12%	-62,793,073	86.67%
平成16年度	9,798,015,877	376,205,050	296,201,000	3.84%	127.01%	-32,177,941	92.12%
平成17年度	8,958,578,672	356,759,112	295,110,000	3.98%	120.89%	-19,445,938	94.83%
平成18年度	9,493,760,126	392,336,149	275,642,000	4.13%	142.34%	35,577,037	109.97%
平成19年度	8,139,470,279	377,343,312	273,034,000	4.64%	138.20%	-14,992,837	96.18%
平成20年度	8,485,642,911	379,360,034	276,681,000	4.47%	137.10%	2,016,722	100.53%
平成21年度	9,801,795,723	402,610,234	290,246,000	4.21%	138.71%	23,250,200	106.13%
平成22年度	9,403,671,566	415,981,674	309,863,000	4.21%	127.64%	-13,371,440	103.32%
平成23年度	9,557,006,057	418,578,094	287,157,000	4.38%	145.77%	2,596,420	100.62%
平成24年度	9,171,290,234	402,634,678	289,630,000	4.39%	139.02%	-15,943,416	96.19%
平成25年度	10,075,686,417	409,543,107	280,163,000	4.06%	146.18%	6,908,429	101.72%
平成26年度	10,452,396,676	1,039,188,059	293,821,000	9.94%	353.68%	629,644,952	253.74%
平成27年度	10,579,873,294	514,515,675	298,196,000	4.86%	172.54%	-524,672,384	49.51%
平成28年度	11,570,087,775	438,401,769	278,048,000	3.79%	157.67%	-76,113,906	85.21%
平成29年度	13,537,692,686	483,282,088	277,969,000	3.57%	173.86%	44,880,319	110.24%
平成30年度	11,617,421,293	439,895,625	278,500,000	3.79%	157.95%	-43,386,463	91.02%
令和元年度	13,161,064,775	461,605,611	277,268,000	3.51%	166.48%	21,709,986	104.94%
令和2年度	14,292,434,812	519,802,215	279,722,000	3.64%	185.83%	58,196,604	112.61%
令和3年度	12,814,089,866	520,952,188	377,955,432	4.07%	137.83%	1,149,973	100.22%
令和4年度	12,868,445,949	490,841,880	364,803,810	3.81%	134.55%	-30,110,308	94.22%
令和5年度	13,371,604,770	463,424,702	379,845,067	3.47%	122.00%	-27,417,178	94.41%
令和6年度	14,466,034,789	736,245,440	306,883,000	5.09%	239.91%	272,820,738	158.87%

※割合及び消防費の前年度比較は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示している。

消防資機材



1 垂水市消防機器配置状況

(1) 消防本部

昭和44年 4月 1日	救急車購入、配置 (トヨタMS、56VS型B級)
昭和44年 9月27日	消防専用無線電話装置設置 (基地局1、移動局2) 超短波149.73MHZ F3 (JRC10w) 発電機1.2kw (100V・12V)
昭和45年 2月15日	消防本部・署庁舎新築 (鉄筋コンクリート3階建)
昭和45年 3月 9日	気象観測機器購入設置 (1) 自記プロペラ型風向風速計 (2) 自記雨量計 (3) 自記湿度計
昭和45年 3月11日	水槽付消防ポンプ車購入配置 (いすゞTXG20、2.5t積)
昭和46年 4月 1日	救急車サイレンをピーポーに切り替え
昭和46年 7月15日	気象観測機器、自記気圧計購入設置
昭和46年 7月21日	仮眠室冷房装置取付 (日立)
昭和46年10月 7日	消防無線電話装置増設、無線移動局 (しょうぼうたるみず3) 設置
昭和46年10月 7日	消防ポンプ自動車購入 (ニッサンパトロールFH60)
昭和47年 2月23日	消防無線電話装置に県共通波挿入148.21MHZ、F3 (10w) 基地局1・移動局3 (しょうぼうたるみず1~3)
昭和47年 3月 6日	救急車に進入破壊器具弁慶購入積載
昭和47年 5月31日	新日本消防機器よりレンジャー用品一式購入
昭和47年 6月20日	武田ポンプよりエンジンカッター購入
昭和47年12月 2日	森田ポンプより現場外套7着購入
昭和48年 4月 2日	軽車付消防車 (火災保険号) 寄贈配置
昭和48年 9月18日	全国農協共済よりニッサンフォーミー救急車寄贈配置
昭和49年 2月12日	消防専用無線電話装置配置(移動局1)並びに周波数変更 (149.71MHZ, F3E10w)
昭和49年 2月13日	第8分団消防ポンプ自動車へ本部無線設備移動局(しょうぼうたるみず2)を移動設置
昭和49年 2月15日	消防専用無線電話装置 (移動局) 二局取付 現有数 基地局 1 移動局 6 (1基は第8分団消防車へ積載)
昭和49年 3月19日	森田ポンプより防熱衣10(第8,小2)及びヘルメット (タレ付) 10購入
昭和49年11月19日	火災原因調査器具一式購入
昭和50年 7月25日	投光機器等 (含発電機) 購入
昭和50年 9月10日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず11)
昭和50年11月21日	マジックギブスセット・血圧計購入
昭和51年 1月31日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず12)
昭和51年 8月11日	レンジャー服一式購入
昭和51年 9月10日	消防専用携帯無線電話機1局購入 (しょうぼうたるみず13)
昭和51年10月 8日	水槽付消防ポンプ車購入 (日野KR321、2.5t積載)
昭和51年10月15日	消防専用無線電話装置設置場所変更 (第8分団車から分遣所配置予定の水槽付消防ポンプ自動車へ)
昭和51年10月18日	牛根分遣所に消防用無線電話装置設置 (基地局、固定局1) しょうぼううしね 超短波 149.71MHZ F3 10w 148.21MHZ F3 10w
昭和51年10月30日	空気呼吸器一式購入 N6S8型 3台
昭和51年11月10日	通信室用ユーダイヤル購入 30回線挿入

昭和52年 3月31日	発電機購入 2KVA (100V・12V) 分遣所設置	
昭和52年 3月31日	分遣所気象観測機器購入	
	(1) 自記プロペラ型風向風速計	(2) 自記雨量計
	(3) 自記湿度計	(4) 自記温度計
昭和52年 9月 5日	自動サイレン吹鳴装置2台購入	本署・分遣所設置
昭和52年 9月30日	消防専用携帯無線電話2台購入 (しょうぼうたるみず14)	
	(しょうぼうたるみず15)	
昭和52年12月 3日	消火器ABC50型2本、ABC20型2本購入	岳野へ配置
昭和53年 2月 7日	ガレージジャッキ購入10t	分遣所へ配置
昭和53年 2月21日	空気呼吸器一式購入N6S8型2台 エンジンカッター購入	分遣所へ配置
昭和53年 3月22日	救急自動車購入 (ニッサンキャラバン2000CC2B型)	分遣所へ配置
昭和53年 3月27日	山林火災用チェンソー2台購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年 3月27日	双眼鏡2台購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年 3月27日	火災現場用カメラ購入	
昭和53年 3月28日	コンプレッサー一式購入 (東芝圧力一馬力)	本署へ配置
昭和53年 3月28日	充電機購入 (MX-55)	本署へ配置
昭和53年 3月29日	分遣所通信室用ユーダイヤル購入30回線挿入	
昭和53年 3月29日	気象観測自記温度計購入	本署へ配置
昭和53年 6月21日	消防用救助マット 1台購入	本署へ配置
昭和53年 6月27日	人工呼吸器 1台購入	本署へ配置
昭和53年 8月21日	消防専用無線電話設置 (移動局) 1基取付 (きゅうきゅうたるみず2)	分遣所へ配置
昭和53年 9月11日	小型動力ポンプ積込式軽自動車三菱5501台購入	分遣所へ配置
昭和53年11月30日	本署浴室ボイラー一式設置	
昭和53年11月30日	ピットゲージ2個購入	本署へ配置
	弁慶 2個購入	本署・分遣所へ配置
昭和53年12月25日	プルスモニター 1基購入	本署へ配置
昭和54年 2月28日	可燃性ガス検知器 1基購入	本署へ配置
昭和54年 3月10日	ロータリーノズル及び分水器一式購入	本署へ配置
昭和54年 3月15日	酸素発生閉鎖循環式呼吸器 2セット購入	本署へ配置
昭和54年 3月31日	消防専用携帯無線電話機 2台購入 (しょうぼうたるみず16) (しょうぼうたるみず17)	本署へ配置
昭和54年11月10日	消防専用無線電話機 (移動局) 3基購入	
	積込車 (しょうぼううしね2)	分遣所へ配置
	救急車3B型 (きゅうきゅうたるみず2)	本署へ配置
	指令車 (しょうぼうたるみず5)	本署へ配置
昭和54年11月23日	指令車購入 (ニッサングロリア2000CC)	本署へ配置
昭和54年11月30日	火災現場用消防長靴 10足購入 (内3足は分遣所)	
昭和55年 3月24日	指令車用パイプ車庫一式購入	本署へ配置
昭和55年 3月31日	損害保険協会より日産シビリアン救急車3B型寄贈	本署へ配置
昭和56年 1月19日	救助幕購入	本署へ配置
昭和56年 1月19日	空気呼吸器一式 1台購入	本署へ配置
昭和56年 1月20日	レンジャー服一式購入	本署へ配置
昭和56年 1月29日	救急用舌圧子電灯購入	本署へ配置
昭和56年 3月31日	鋼管製3連伸縮梯子購入	本署へ配置

昭和56年	8月17日	消防専用携帯無線電話1台購入 (しょうぼうたるみず14)	本署へ配置
昭和57年	3月10日	消防専用携帯無線電話1台購入 (しょうぼううしね13)	分遣所へ配置
昭和57年	2月19日	発電機 (E800) 1台・投光器 (300w) 2台購入	本署へ配置
昭和57年	3月31日	3点セット (ピットゲージ・圧縮計・真空計) 購入	本署へ配置
昭和57年	3月31日	救急用レサシバッグ購入	分遣所へ配置
昭和57年	3月31日	ホース修理用リベット購入	本署・分遣所へ配置
昭和57年	6月30日	本署仮眠室にルームエアコン (サンヨーSAPKY4514) 購入	本署へ配置
昭和58年	3月15日	昭和50年7月25日本署購入の発電機一式	分遣所へ移設置
昭和58年	3月28日	自動録音電話装置購入	本署へ配置
昭和58年	11月9日	レコーディングレサシアン購入	
昭和58年	11月23日	日本防火協会より広報車寄贈	本署へ配置
昭和58年	12月10日	レンジャー用ヘルメット (O型) 36個購入	
昭和59年	3月16日	工具セット (SK330) 購入	
昭和59年	11月30日	水槽付消防ポンプ自動車 (日野P-GD172BA・2.5t積・3tウインチ付)	本署へ配置
昭和59年	11月30日	消防専用無線電話車載携帯無線機1台購入 (しょうぼうたるみず6)	
		発電機 (ホンダ400) 1台・投光器1台	
		空気呼吸器 (ライフゼム8型) 一式4台購入	本署タンク車へ積載
昭和60年	1月14日	昭和45年3月11日購入の水槽付消防ポンプ車 (いすゞYXG20) 老朽のため廃車	
昭和60年	2月23日	自動録音電話装置購入	分遣所へ配置
昭和60年	3月14日	損害保険協会より日産キャラバン救急車2B型寄贈	本署へ配置
昭和60年	3月15日	昭和48年9月18日全国農協共済より寄贈の日産ホーミー救急車老朽のため廃車	
昭和60年	11月15日	救助工具 ハイジャッキ一式・エアーカッター一式・SOSツール一式	
		ファイヤーレンジャー2組購入	本署へ配置
昭和60年	11月30日	消防用無線電話購入 (基地局)	
		(しょうぼうたるみず)	本署へ配置
昭和61年	3月25日	水槽付・親子ポンプ装置付消防ポンプ車購入 (日野P-FD171BD1.5t積)	本署へ配置
		空気呼吸器 (カワサキライフゼムK2) 一式・2台購入	本署・分遣所へ配置
昭和61年	4月15日	昭和46年10月7日購入の消防ポンプ車 (日産パトロールFH60)	
		老朽のため廃車	
昭和61年	8月1日	消防専用無線電話装置 (移動局) 2基購入	
		しょうぼうたるみず3 (タンク2号車)	本署へ配置
		しょうぼううしね1 (タンク車)	分遣所へ配置
昭和61年	11月10日	予防広報用防火フィルム2本購入	本部へ配置
昭和61年	11月13日	消防専用携帯無線電話2基購入 (しょうぼうたるみず16)	本部へ配置
		(しょうぼううしね13)	分遣所へ配置
昭和61年	12月15日	エンジンカッター1台購入	本署へ配置
昭和61年	12月17日	エンジンチェンソー (ダイワE346-14) 1台購入	本署へ配置
昭和61年	12月17日	自記温度計 (週巻) 1台購入	分遣所へ配置
昭和62年	1月12日	災害用カメラ1台購入	本署へ配置
昭和62年	1月16日	昭和52年3月31日購入の自記温度計 (分遣所配置) 老朽のため廃棄	
昭和62年	1月17日	救急車 (ニッサン2B型) 1台中村商事 (中村幸郎) 寄贈	分遣所へ配置
昭和62年	2月19日	災害用カメラ1台購入	分遣所へ配置
昭和62年	4月14日	昭和53年3月22日購入の救急車 (分遣所配置) 老朽のため廃車	
昭和62年	10月20日	消防専用携帯無線電話2基購入 (しょうぼうたるみず13)	本署へ配置

	(しょうぼううしね14)	分遣所へ配置
昭和62年12月24日	救助資機材 (チルホールT-7型・溶断器ニューチョパック・エアージャッキマキシホース1式) 購入	本署へ配置
昭和63年 3月 3日	電気ドリル (マキタ6010N) 購入	本署へ配置
	ディスクグラインダー (マキタ9500N) 購入	分遣所へ配置
昭和63年 3月22日	消防専用無線電話装置 (移動局) 1基購入	
	救急垂水1 (きゅうきゅうたるみず1)	本署へ配置
昭和63年 6月 7日	予防広報用防火フィルム1本購入	本部へ配置
昭和63年 8月20日	日本消防協会より電源照明付資機材等搬送車 (イスズNHR55E) 寄贈	本署へ配置
昭和63年 8月24日	消防専用携帯無線電話機2基購入 (しょうぼうたるみず17・18)	本署へ配置
昭和63年11月14日	消防ポンプ自動車 (イスズP-NKR58E2N改) 購入	本署へ配置
昭和63年11月15日	消防専用無線電話装置 (移動局) 1基購入	
	しょうぼうたるみず2 (ポンプ車)	本署へ配置
昭和63年12月27日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず20)	本署へ配置
平成 元年 1月30日	予防広報用防火フィルム1本購入	本部へ配置
平成 元年 7月13日	救助資機材一式購入	本署へ配置
平成 元年 8月22日	消防専用車載型無線機 (移動局) 1基購入 (しょうぼうたるみず2)	本署へ配置
平成 元年 9月 1日	消防本部現地指揮本部旗購入	本署へ配置
平成 元年11月 2日	予防広報用防火ビデオテープ1本購入	本部へ配置
平成 元年12月 1日	指令車購入	本署へ配置
平成 元年12月13日	安全帯 (東消型) 10個購入	本署(8)分遣所(2)へ配置
平成 元年12月17日	音声合成マイク (大阪サイレン製) 購入	本署(2)分遣所(1)へ配置
平成 2年 1月 5日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず21)	本署へ配置
平成 2年 7月 9日	災害組織用救急箱購入	
平成 2年 7月16日	防火フィルム (16ミリ) 購入	
平成 2年10月31日	消防用図書 (日本防災100年史) 購入	
平成 2年11月22日	メガホン (充電式) 購入	
平成 2年12月27日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼううしね20)	分遣所へ配置
平成 3年 1月16日	救急車積載備品購入 (寄贈救急車用)	
平成 3年 1月30日	安田生命より日産キャラバン救急車2B型寄贈	本署へ配置
平成 3年 2月 1日	訓練用消火器2個購入	
平成 3年 2月25日	昭和55年3月31日寄贈の救急車 (日産シビリアン3B型) 垂水中央病院へ譲渡	
平成 3年 5月16日	消防署応援旗購入	
平成 3年 6月18日	空気呼吸器用ボンベ (超軽量) 購入2本	
平成 3年 7月11日	防火用懸垂幕購入	分遣所へ配置
平成 3年 7月11日	水槽付消防ポンプ車購入	分遣所へ配置
平成 3年 9月 2日	消防専用車載型無線機 (移動局) 1基購入 (しょうぼうたるみず2)	本署へ配置
平成 3年 9月26日	昭和51年11月4日購入の水槽付消防ポンプ車 (日野KR321) 老朽のため廃車	
平成 3年10月18日	充電器1台購入	本署へ配置
平成 3年10月23日	訓練用レサシアン (ジュニア用) 購入	本署へ配置
平成 3年10月23日	消防専用携帯無線電話機1W1基購入 (しょうぼうたるみず12)	本署へ配置
平成 3年11月22日	小型動力ポンプ積込式軽自動車 (ホンダ660CC) 1台購入	分遣所へ配置
平成 3年11月27日	小型動力ポンプ積込式軽自動車 (三菱550CC) 老朽のため廃車	
平成 4年 1月10日	牛根分遣所無線基地局購入 (しょうぼううしね)	
平成 4年 2月 5日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入 (しょうぼうたるみず11)	本署へ配置
平成 4年11月21日	救助ロープ投下袋購入	本署へ配置

平成 5 年 2 月 1 2 日	教材用ビデオ購入	本署へ配置
平成 5 年 3 月 1 日	水力発電施設周辺地域交付金事業により林野火災用資機材購入	
平成 5 年 5 月 2 5 日	救急資機材 咽頭鏡セット・聴診器購入	
平成 5 年 6 月 7 日	救急資機材 マギール鉗子購入	
平成 5 年 7 月 2 6 日	広報車(株)垂水生コンより寄贈 (トヨタ、ステーションワゴン) 10人乗	
平成 5 年 1 2 月 2 0 日	組立式野外天幕購入	
平成 6 年 2 月 1 5 日	カメラ1台購入	本署へ配置
平成 6 年 3 月 2 0 日	消防用ホース30本購入	本署へ配置
平成 6 年 5 月 2 7 日	消防専用携帯無線電話機5w3基購入 (しょうぼうたるみず22) (しょうぼううしね21・23)	本署(1)配置 分遣所(2)へ配置
平成 6 年 8 月 2 5 日	手指消毒器購入	本署へ配置
平成 6 年 9 月 2 7 日	気象観測雨量計購入	分遣所へ配置
平成 6 年 1 2 月 2 日	水力発電施設周辺地域交付金交付事業による林野火災用資機材購入	
平成 7 年 5 月 1 9 日	消防専用携帯無線電話機5W6基購入 (しょうぼうたるみず23・24・25・26・27) (しょうぼううしね22)	本署(5)へ配置 分遣所(1)へ配置
平成 7 年 7 月 5 日	心肺蘇生法訓練用ダミー6体購入	本署へ配置
平成 7 年 7 月 2 1 日	救急資機材 (患者監視装置) 1台購入	本署へ配置
平成 7 年 8 月 3 1 日	発電機購入	分遣所へ配置
平成 7 年 1 1 月 2 日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず28)	本署へ配置
平成 7 年 1 2 月 1 3 日	カメラ2台・ハンマードリル購入	本署へ配置
平成 8 年 6 月 1 3 日	張力計購入	本署へ配置
平成 8 年 7 月 3 0 日	心肺蘇生法訓練用ダミー5体購入	本署へ配置
平成 8 年 1 0 月 5 日	消防用ホース24本購入	本署(18)分遣所(6)へ配置
平成 8 年 1 1 月 2 日	空気呼吸器一式購入	本署へ配置
平成 8 年 1 1 月 1 8 日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず11)	本署へ配置
平成 8 年 1 2 月 1 1 日	日産ホーミー救急車資機材一式寄贈命名財宝号(株)鹿農	本署へ配置
平成 8 年 1 2 月 1 1 日	昭和62年4月1日寄贈の救急車(分遣所配置)老朽のため廃車	
平成 9 年 3 月 1 2 日	平成3年1月30日日産キャラバン救急車(安田生命寄贈) 本署へ分遣所へ配置替	
平成 9 年 3 月 1 7 日	頸椎固定シーネックロック(6サイズ)購入	本署へ配置
平成 9 年 9 月 3 0 日	消防用ホース22本購入	本署へ配置
平成 9 年 1 0 月 3 0 日	石油交付金事業による1W携帯無線機を5W更新 (しょうぼうたるみず14)	本署へ配置
平成 9 年 1 2 月 2 日	水槽付消防ポンプ自動車(日野KC-GDIJGBA、2.5t積)	本署へ配置
平成 9 年 1 2 月 2 日	昭和59年11月30日購入のタンク車(2.5t積)老朽のため廃車	
平成 9 年 1 2 月 7 日	携帯用人工蘇生器モニターセットEM-1型1組購入	本署へ配置
平成10年 1 月 2 8 日	救急用布担架購入	分遣所へ配置
平成10年 3 月 2 7 日	頭部固定用具セット一式購入	分遣所へ配置
平成10年 1 0 月 1 0 日	アネロイドメーター式血圧計3台購入	本署(2)分遣所(1)へ配置
平成10年 1 1 月 3 0 日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入 (しょうぼうたるみず15)	本署へ配置
平成11年 3 月 2 3 日	ポータブル吸引器(OB2000)1台購入	本署へ配置
平成11年 5 月 1 4 日	ポータブル吸引器(OB2000)1台購入	分遣所へ配置
平成11年 8 月 1 0 日	心肺蘇生法訓練用ダミー購入	本署へ配置
平成11年 8 月 1 8 日	消防専用無線電話装置(移動局)1基購入 (きゅうきゅううしね1)	分遣所へ配置
平成11年 9 月 2 0 日	救急用パルスオキシメーター購入	分遣所へ配置

平成11年 9月21日	気象用自記気圧計購入	本署へ配置
平成11年11月11日	石油交付金事業による携帯無線機5W1基購入(しょうぼうたるみず16)	本署へ配置
平成11年11月11日	昭和60年3月14日寄贈の救急車日産キャラバン老朽のため廃車	
平成11年11月11日	救急自動車購入(2B型)日産キャラバン	本署へ配置
平成12年 2月 1日	消防専用無線電話装置(移動局)1基購入(しょうぼうたるみず5)	本署へ配置
平成12年 5月23日	救命胴衣20着購入	本署(15)分遣所(5)へ配置
平成12年 5月23日	自記温湿度計購入	本署へ配置
平成12年10月12日	トランジスターメガホン購入	本署へ配置
平成12年11月 2日	消防ポンプ自動車CD-1型(イスズKK-NKS71GR)	
	日本損害保険協会寄贈	本署へ配置
平成12年11月 2日	昭和63年11月14日購入の消防ポンプ自動車(イスズ-NKR 58E2N改)	
	老朽のため廃車	
平成13年 1月19日	救助用機具(救助用縛帯3個、安全带5個、エッジプロテクター1個)購入	
		本署へ配置
平成13年 2月28日	石油交付金事業による5W携帯無線機3基購入 (しょうぼうたるみず13・17・18)	本署へ配置
平成13年 3月28日	カメラ1台購入	本署へ配置
平成13年 6月20日	消防専用携帯無線電話機1基購入(しょうぼううしね13)	分遣所へ配置
平成13年 7月19日	消防ホース15本購入	本署(5)分遣所(10)へ配置
平成13年12月 7日	石油交付金事業による5W携帯無線機1基購入 (しょうぼうたるみず20)	本署へ配置
平成14年 3月27日	バックボート購入	救急2号車へ配置
平成14年 5月24日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入(しょうぼううしね14)	分遣所へ配置
平成14年 8月30日	全自動蒸気滅菌器・脱臭殺菌オゾン発生装置・手指消毒器 殺菌線ロッカー・消毒器用保管庫購入	本署へ配置
平成14年 9月24日	高度救急処置シュミレーター	本署へ配置
	頸椎、脊椎固定搬送用具購入	分遣所へ配置
平成14年12月12日	日産ホーミー救急車(財宝号(株)鹿農)	分遣所へ配置替
平成14年12月20日	石油交付金事業による5W携帯無線機2基購入 (しょうぼうたるみず12・21)	本署へ配置
平成15年12月 8日	消防専用無線電話装置1基購入(しょうぼうたるみず3)	本署へ配置
平成16年 1月19日	高規格救急自動車(ニッサンTC-FTWGE50)購入 救急1号車廃車(安田生命平成3年1月15日寄贈分)	本署へ配置
平成16年 5月31日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入	本署へ配置
平成16年 6月24日	消防専用携帯無線電話機5W1基購入(しょうぼうたるみず17)	本署へ配置
平成17年 3月 1日	消防専用無線電話装置1基購入(しょうぼうたるみず4)	本署へ配置
平成17年 5月 9日	バキュームスプリントC1一式購入	救急1号へ配置
平成17年 7月28日	消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成17年 9月20日	自記温湿度時計一式購入	本署へ配置
平成17年 9月21日	小型動力ポンプ積込式軽自動車ダイハツ660cc1台購入	分遣所へ配置
平成17年 9月21日	小型動力ポンプ積込式軽自動車ホンダ660cc老朽のため廃車	
平成18年 2月 1日	消防ホース10本購入	本署へ配置
平成18年 3月24日	自動体外式除細動器(AED)2式 垂水医師会寄贈	本署・分遣所へ配置
平成18年 4月17日	AEDトレーニングユニット購入	本署へ配置
平成18年 7月25日	自動体外式除細動器(AED)2式購入	本署へ配置
平成18年 7月25日	AEDトレーニングユニット2式購入	本署へ配置

平成18年10月23日	訓練用消火器3本（肝属地区危険物安全協会）寄贈	本署へ配置
平成18年11月 7日	ショートボード（脊柱固定用機器）3式 日本損害保険協会寄贈	本署・分遣所へ配置
平成19年 1月26日	水槽付消防ポンプ自動車 1-A型（1.5t）購入	本署へ配置
平成19年 1月26日	昭和61年3月25日購入の水槽付消防ポンプ自動車老朽のため廃車	
平成19年 2月 2日	石油交付金事業による消防ホース10本購入	本署へ配置
平成19年 7月 3日	石油交付金事業による消防ホース10本購入	本署へ配置
	消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成19年 7月26日	救急車監視モニター購入	本署へ配置
平成19年12月20日	救急車（トヨタ ハイメディック）購入森伊蔵より寄贈	分遣所へ配置
	救急車（財宝号）廃車（平成8年12月11日）寄贈分	
平成20年 6月 4日	訓練用消火器5本（肝属地区危険物安全協会）寄贈	本署へ配置
平成20年 8月 1日	消防ホース巻取り機（タコマンv2）購入	本署へ配置
平成20年 9月 3日	風車型風速計（500型）転倒ます型雨量計（TR-011型）	本署へ配置
平成20年10月 8日	消防ホース20本購入	本署(10)分遣所(10)へ配置
平成20年12月 2日	指令車購入（トヨタ ランドクルザープラド）	本署へ配置
平成21年 6月16日	訓練用消火器3本購入	本署へ配置
平成21年 6月26日	パルスオキシメータ購入	本署へ配置
平成21年 8月25日	サーモンフォーカスプロ（体温計）保健福祉課より寄贈	本署・分遣所へ配置
平成21年 9月18日	山岳救助資機材購入 （レスキューセンダー、プロトラクション、ポーM、エーエムディ スクリューロック、フルボディーハーネス、シットハーネス）	本署へ配置
平成21年10月30日	防火服（上・下）帝国繊維13着、防火帽13個購入	本署へ配置
平成21年11月20日	石油交付金事業による消防ホース10本購入	本署へ配置
平成21年12月 4日	アネロイド血圧計 ハンド型購入	本署へ配置
平成22年 1月14日	高度救命処置シュミレーターセーブマンLM-073 総務省消防庁貸与品	本署へ配置
平成22年 1月20日	尿器2個購入	本署へ配置
平成22年 1月22日	蘇生教育モデルJAMY IV RECO 幼児モデルJAMY II baby N AEDトレーナー CR-T 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成22年 2月17日	防滴メガホン（TR-315S） 日本防火・危機管理促進協会より寄贈	本署へ配置
平成22年 3月15日	高圧洗浄機リョービAJP-1600 2機購入	本署・分遣所へ配置
平成22年 3月19日	アンプ蘇生バックマークIV（成人用）1式購入	本署へ配置
平成22年 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車II-A型（2.5t）購入	分遣所へ配置
平成22年 3月27日	平成3年10月16日購入の水槽付ポンプ自動車老朽のため廃車	
平成22年 4月16日	防火衣ロッカー購入	分遣所へ配置
平成22年 8月31日	救急車患者監視装置一式購入	分遣所へ配置
平成22年10月12日	救助資器材ルーカス一式（スプレッダー・カッター・ラムシリンダー）購入	本署へ配置
平成22年11月30日	消防ホース10本購入	本署へ配置
平成23年 3月10日	バックボード購入	分遣所へ配置
平成23年 3月18日	訓練用消火器（はやわぎくん）3本購入	本署へ配置
平成23年 3月29日	電動式可搬型吸引器購入	分遣所へ配置
平成23年 3月31日	山岳救助資器材購入	本署へ配置

平成23年 5月 6日	軽量吸水管購入	本署へ配置
平成23年 5月20日	電動式可搬型吸引器購入	本署へ配置
平成23年 7月 1日	水難救助資器材一式購入	本署へ配置
平成23年 7月15日	バキュームスプリント購入	分遣所へ配置
平成23年11月25日	消防用ホース10本購入	本署へ配置
平成23年11月25日	消防用ホース20本購入	分遣所へ配置
平成24年 1月26日	パルスオキシメーター購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	電源照明車（日野デュトロSKG-XZU685M型）購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	水難救助資器材購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成24年 2月29日	空気呼吸器（セイバー自給式呼吸器）購入	本署へ配置
平成24年 3月 1日	昭和63年8月20日購入の電源照明車（イスズ-NHR55E）更新のため廃車	
平成24年 6月14日	空気ボンベ5本購入	本署4本 分遣所1本配置
平成24年11月30日	石油交付金事業による消防ホース10本購入（50ミリ）	本署へ配置
平成25年 2月26日	空気呼吸器（KD30）2器購入	本署へ配置
平成25年 3月18日	水難救助資器材購入	本署へ配置
平成25年 3月22日	自動体外式除細動器（AED2151カルジオライフ）1式購入	分遣所へ配置
平成25年 7月31日	風車型風速計（感部）一式購入	本署へ配置
平成25年 7月31日	転倒ます型雨量計（感部）一式購入	本署へ配置
平成25年10月25日	自動体外式除細動器（AED2151カルジオライフ）1式購入	本署へ配置
平成25年10月29日	救急2号車（トヨタハイメディック）、救急資器材一式購入	本署へ配置
平成25年11月14日	石油交付金事業による空気呼吸器一式（ライフゼム）購入	本署へ配置
平成25年11月14日	消防用ホース（20m）10本購入	分遣所へ配置
平成26年 1月 7日	救急2号車（2B型日産キャラバン）廃車	本署へ配置
平成26年 1月23日	救助マット購入	本署へ配置
平成26年 3月 4日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成26年 5月16日	訓練用人形1体購入	本署へ配置
平成26年 5月30日	エンジンカッター（ハスクバーナ製）1機購入	本署へ配置
平成26年 6月12日	訓練用AEDトレーナー（カーディオライフ）1機購入	本署へ配置
平成26年 6月18日	CPR訓練人形（エリックWEK-6）3体購入	本署へ配置
平成26年 6月19日	マルチ型ガス検知器（新コスモスXA-4400）1機購入	本署へ配置
平成26年 9月24日	石油交付金事業による空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び、 空気ボンベ（軽量）（730CII）1本購入	本署へ配置
平成26年 9月29日	消防用ホース（20m）20本購入	本署へ配置
平成27年 3月23日	無線統合システム及びデジタル消防救急無線運用開始	本署・分遣所へ配置
平成27年 4月27日	足踏み式ディスペンサーHC-800 1機購入	本署へ配置
平成27年 4月30日	オキシバッグWOB 購入	分遣所へ配置
平成27年 5月11日	サーボクレーブ TE-240RE 購入	本署へ配置
平成27年 5月25日	空気ボンベ2本購入	本署へ配置
平成27年 6月30日	CPR訓練人形 マネキンエリックLMS-31 3機購入	本署へ配置
平成27年 7月 7日	タブレット端末F-03G 3機購入	本署2・分遣所1配置
平成27年 9月 8日	消防用ホース巻取り機（タコマンV2）購入	分遣所へ配置
平成27年11月19日	石油交付金事業による空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び 空気ボンベ（軽量）（730CIII）1本購入	本署へ配置
平成27年12月11日	緊急消防援助隊設備整備費事業による災害対応特殊救急自動車 （トヨタ TRH226S-QFPDK-H）購入	本署へ配置

平成27年12月14日	消防ポンプ自動車（日野 TKG-XZU685M）購入	本署へ配置
平成27年12月14日	平成12年11月2日寄贈（日本損害保険協会）の消防ポンプ自動車CD-1型 （イスズKK-NKS71GR）をリサイクル援助事業により海外へ寄贈	
平成27年12月15日	平成16年1月19日購入の高規格救急車をリサイクル援助事業により海外へ寄贈	
平成27年12月25日	平成5年7月26日寄贈（垂水生コン(株)）による広報車更新のため廃車	
平成28年 3月 2日	空気呼吸器（KD30）1機購入	本署へ配置
平成28年 3月22日	アンプ蘇生バッグIV（成人用）1式購入	分遣所へ配置
平成28年 3月23日	パルスオキシメータ購入	分遣所へ配置
平成28年 3月24日	気道確保訓練用資機材1式	
	静脈路確保訓練用資機材1式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成28年 4月28日	capnoプチポケット CO2モニター（WEC-7301）購入	本署へ配置
	CO2センサー（TG-121T）購入	本署へ配置
平成28年 6月23日	風向風速計4要素記録器 購入	本署へ配置
平成28年 9月12日	空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び空気ボンベ（軽量） （730CⅢ）1本購入	本署へ配置
平成28年11月26日	石油交付金事業による空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び 空気ボンベ（軽量）（730CⅢ）1本購入	本署へ配置
平成28年12月18日	ワイヤレスアンプ（マイク）（ピンマイク）一式 購入	本署へ配置
平成29年 1月20日	エアーコンプレッサー 一式 購入	本署へ配置
平成29年 8月22日	空気呼吸器（ライフゼムK2）3器（平成3・12・13年購入）廃棄	
平成29年 9月22日	心肺蘇生訓練用人形2体（成人・乳児） AEDトレーナー1式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
平成29年10月18日	自動体外式除細動器（ZOLL AED Pro）購入	分遣所へ配置
平成29年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車CAFS搭載 2.0t積（日野）購入	本署へ配置
平成29年11月27日	石油交付金事業による空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び 空気ボンベ（軽量）（730CⅢ）1本購入	本署へ配置
平成29年12月 4日	消防用ホース（50mm×20m）20本購入	本署・分遣所へ配置
平成29年12月12日	水槽付消防ポンプ自動車（日野KC-GDIJGBA 2.5t積） 更新のため廃車	
平成30年 6月29日	水難救助資機材 一式 購入	
平成30年10月11日	分遣所救急車（トヨタハイメディック）及び救急資機材一式 購入	分遣所へ配置
平成31年 1月11日	平成19年12月20日寄贈（森伊蔵）の救急車を鹿屋医療センターへ譲渡	
平成31年 3月22日	静脈路確保困難モデル 一式 救急振興財団より寄贈	本署へ配置
令和 元年 5月14日	空気呼吸器（ライフゼムKD30F）3器購入	本署へ配置
令和 元年 7月30日	救助訓練用安全マット 購入	本署へ配置
令和 元年10月10日	消防用ホース（65mm×20m）20本購入	本署へ配置
令和 元年11月26日	石油交付金事業による空気呼吸器（ライフゼムA1-12）1器及び 空気ボンベ（軽量）（730CⅢ）1本購入	分遣所へ配置
令和 2年 3月23日	チェンソー用保護ズボン 5着購入	本署・分遣所へ配置
令和 2年10月29日	油圧救助資機材（ホルマトロー式） 購入	本署へ配置
令和 2年11月16日	消防団用ホース（65mm×20m）20本購入	本署・分遣所へ配置
令和 2年12月17日	小型動力ポンプ積載車 購入	分遣所へ配置
令和 3年 3月 4日	オゾン装置監視モニター付 購入	本署へ配置
令和 3年 6月16日	山岳救助資機材 フルボディハーネス 5着購入	本署・分遣所へ配置
令和 3年 7月 8日	汚染物専用洗濯機 1台購入	本署へ配置

令和 3年 8月 6日	自動体外式除細動器AED-3100 購入	本署へ配置
令和 3年 8月10日	チェンソーSTIHL MS230 購入	本署へ配置
令和 3年 9月24日	空気ボンベ(軽量)730CⅢAZ 石油交付金事業にて3本受領	本署へ配置
令和 3年10月 5日	消防用ホース(65mm×20m)	本署・分遣所へ配置
令和 3年10月 6日	エアーコンプレッサー 購入	本署へ配置
令和 3年10月22日	オゾン水発生装置 地方創生交付金事業にて2機受領	本署・分遣所へ配置
令和 3年11月27日	ビデオ喉頭鏡マックグラス 鹿児島県消防学校より受領	分遣所へ配置
令和 3年12月15日	高度救急シミュレーター 地方創生交付金事業にて1式受領	本署へ配置
令和 4年 3月17日	電動式心肺人口蘇生器コーパルスCPR 地方創生交付金事業にて2機受領	本署・分遣所へ配置
令和 4年 3月28日	現場用カメラ 購入	本署へ配置
令和 4年 4月 1日	水難救助資機材 一式 購入	本署へ配置
令和 4年 5月27日	エアウェイスコープ 喉頭鏡 AWS-s200NK	本署へ配置
令和 4年 6月23日	ライフジャケット BW-2003型 10着購入	本署へ配置
令和 4年10月 7日	トレーニングユニット(AEDトレーナー) 日本消防協会より2機受領	本署へ配置
令和 4年10月15日	レスキューシートモデル44 2枚購入	本署へ配置
令和 4年11月 1日	オックスファード バキュームスプリント	本署へ配置
令和 4年11月 1日	ウエストベルト付きウェーダー5着購入	本署へ配置
令和 4年11月14日	石油交付金事業による空気呼吸器用ボンベ3本購入	本署へ配置
令和 4年12月 6日	山岳救助資機材(アイディ・アッセンション) 購入	本署へ配置
令和 4年12月13日	酸素ボンベ2ℓ 3本購入	本署へ配置
令和 5年 2月28日	パルスエキステリオル 3機購入	本署・分遣所へ配置
令和 5年 3月20日	レールダルサクシジョンユニットLSU4000 1機購入	本署へ配置
令和 5年 3月20日	緊急消防援助隊設備整備費事業による災害対応特殊水槽付消防 ポンプ自動車 1.5t積(日野) 購入	本署へ配置
令和 5年 3月28日	水槽付消防ポンプ自動車 1-A型(1.5t) 更新のため廃車	
令和 5年 5月17日	テルモ電子体温計(C206) 購入	分遣所へ配置
令和 5年 5月20日	ポータブルスプラッシュシールド 3個購入	本署・分遣所へ配置
令和 5年 5月24日	災害用テレビ(東芝REGZA40S22) 購入	分遣所へ配置
令和 5年 8月22日	山岳用救助資機材 購入	本署へ配置
令和 5年11月16日	石油交付金事業による空気呼吸器用ボンベ 3本購入	本署へ配置
令和 6年 3月 6日	電子体温計(C206) 2本購入	本署へ配置
令和 6年 3月18日	ウエストベルト付きウェーダー 3着購入	本署へ配置
令和 6年 3月18日	ライフガードチューブ 1本購入	分遣所へ配置
令和 6年 3月18日	水中マスク マンティス5 マスクBK/BK 3個購入	本署へ配置
令和 6年 3月18日	コンパクト熱画像直視装置 FLIR K2 1機購入	本署へ配置
令和 6年 3月18日	個人用携帯警報器(ドレーゲル社 ボディーガード1000) 2機購入	本署へ配置
令和 6年 5月22日	オートロール(CJP-PPAUV603) 3個購入	本署へ配置
令和 6年 5月22日	ムーニングカラー(CJP-PPLGCA01B) 3個購入	本署へ配置
令和 6年 7月 3日	個人用携帯警報器(ドレーゲル社 ボディーガード1000) 2機購入	本署へ配置
令和 6年 7月 9日	新生児蘇生モデル(LM-089) 1個購入	本署へ配置
令和 6年 7月 9日	殺菌ロッカー(DN-188) 1台購入	本署へ配置
令和 6年 8月13日	ガス検知器(ドレーゲル社 X-am2800) 1機購入	本署へ配置

令和 6年10月22日	山岳救助資機材（SPIN L1、SPIN L2、アッセッション、アサップロック、ローラーコースター、プログレスアジャスト、ファルコン、トップクロールL、バスケットストレッチャー）購入	本署へ配置
令和 7年 1月23日	本署救急2号車（ニッサン 3BF-CS8E26）及び救急資機材一式 購入	本署へ配置
令和 7年 2月27日	救急2号車（トヨタハイメディック） 更新のため廃車	
令和 7年 3月 5日	石油交付金事業による空気呼吸器用ボンベ3本購入	本署へ配置
令和 8年 2月13日	石油交付金事業による空気呼吸器用ボンベ3本購入	本署へ配置

(2) 消防団

明治25年11月10日	大ポンプ独乙型114号並びにハンド郷筒石川島製購入	
大正11年 6月	ドイツ型1号消防用ハンド卿筒購入 (190円)	
昭和 5年 5月	ベンツタービン自動車購入 (9,500円)	町8,000 寄付金1,500
昭和26年 1月	消防ポンプ三輪自動車購入	第2分団へ配置
昭和27年 1月	消防機材積込車 (三輪自動車) 購入	第6分団へ配置
昭和28年 1月	消防ポンプ自動車いすゞTX30A1級購入	第1分団へ配置
昭和29年 9月	消防ポンプ自動車出光号A2級購入	第4分団へ配置
昭和29年 9月	消防ポンプ自動車出光号A2級購入	第3分団へ配置
昭和31年10月 1日	小型動力ポンプB-3級購入	第7分団麓へ配置
昭和32年 1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団境へ配置
昭和32年12月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団境へ配置
昭和33年 1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第1分団市木へ配置
昭和33年 1月	小型動力ポンプエムロC-3級購入	第5分団大野へ配置
昭和33年 1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第7分団辺田へ配置
昭和33年 1月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第9分団高野へ配置
昭和33年12月	小型動力ポンプジャイアント号B- 級購入	第8分団二川へ配置
昭和33年12月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第8分団深港へ配置
昭和35年 2月	小型動力ポンプ中央号B-3級購入	第8分団浮津へ配置
昭和35年12月	消防ポンプ自動車ニッサンジュニアB-1級購入	第6分団へ配置
昭和36年 2月	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第1分団中央へ配置
昭和37年12月	消防ポンプ自動車いすゞTXG30A1級購入	第1分団へ配置
昭和37年12月	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第3分団へ配置
昭和38年12月24日	消防機材積込車トヨペット62.5Ps購入	第8分団へ配置
昭和39年 4月 1日	小型動力ポンプトーハツC1級購入	第8分団へ配置
昭和39年12月29日	消防ポンプ自動車ニッサンジープA2級購入	第2分団へ配置
昭和40年 5月20日	小型動力ポンブラビットC-1級購入	第1分団浜平へ配置
昭和40年 5月31日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第3分団へ配置
昭和40年 9月10日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第4分団馬込へ配置
昭和41年10月15日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第2分団へ配置
昭和41年11月26日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第6分団へ配置
昭和42年10月 9日	小型動力ポンプトーハツB-3級購入	第4分団段へ配置
昭和42年10月 9日	小型動力ポンプトーハツB-3級購入	第8分団二川へ配置
昭和42年11月14日	消防機材積込車トヨペット66.6Ps購入	第9分団へ配置
昭和43年11月 7日	消防機材積込車トヨペット67.8Ps購入	第7分団へ配置
昭和44年 9月24日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第5分団へ配置
昭和45年10月17日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第9分団へ配置
昭和45年12月24日	消防ポンプ自動車ニッサンパトロールFN60A2級購入	第9分団へ配置
昭和45年12月28日	昭和42年11月14日購入の消防機材積込車を第5分団大野へ配置替	
昭和46年 8月16日	昭和29年9月購入の第3分団消防ポンプ自動車中央号老朽のため廃車	
昭和46年10月20日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第6分団大浜へ配置
昭和46年12月20日	消防ポンプ自動車ニッサンジュニアPF140購入	第3分団へ配置
昭和47年 8月20日	小型動力ポンブラビットB-3級購入	第8分団中浜へ配置
昭和47年 9月 9日	消防ポンプ自動車ニッサンパトロールFH-60型購入	第4分団へ配置

昭和47年 9月21日	昭和29年9月購入の第4分団消防ポンプ自動車出光号A-2級老朽のため廃車
昭和48年 6月12日	昭和28年1月購入の第1分団消防ポンプ自動車いすずTX30A-1級老朽のため廃車
昭和48年 8月 4日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第5分団垂桜へ配置
昭和48年 8月 9日	昭和39年4月1日購入の第8分団中浜小型動力ポンプトローハツC-1級老朽のため廃棄
昭和48年10月12日	昭和33年12月購入の第8分団ニ川小型動力ポンプジャイアントB-2級老朽のため廃棄
昭和48年10月31日	昭和38年12月24日購入の第8分団消防機材積込車トヨペット62.5Ps老朽のため廃車
昭和48年10月31日	消防ポンプ自動車日産パトロールF140型B-1級 第8分団へ配置
昭和49年 8月12日	昭和40年5月20日購入の第1分団浜平の小型動力ポンプラビットC-1級本部へ配置替
昭和49年 8月12日	昭和33年1月購入の第1分団市木小型動力ポンプ中央号B-3級を浜平へ配置替
昭和49年 8月12日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第1分団市木へ配置
昭和49年 8月12日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第3分団錦町へ配置
昭和49年11月28日	昭和43年11月7日購入の第7分団消防機材積込車を第5分団垂桜へ配置替
昭和49年12月20日	消防ポンプ自動車日産パトロールF140型B-1級 第7分団へ配置
昭和50年 7月 7日	昭和33年1月購入の第5分団大野小型動力ポンプエムロC-3級老朽のため廃棄
昭和50年 7月25日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第7分団へ配置
昭和50年 7月25日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第9分団へ配置
昭和51年 7月23日	昭和32年1月購入の第9分団境小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和51年 7月23日	昭和36年2月購入の第1分団中央小型動力ポンプラビットB-3級老朽のため廃棄
昭和51年 7月23日	昭和40年5月20日購入の第1分団浜平小型動力ポンプラビットC-1級老朽のため廃棄
昭和51年 8月10日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第1分団浜平へ配置
昭和51年 8月10日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第8分団ニ川へ配置
昭和51年 8月15日	受令機購入(スタンダード社C850Z) 第1～第9分団へ取付
昭和51年10月23日	昭和33年1月購入の第7分団辺田小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和52年 1月10日	昭和33年1月購入の第1分団市木小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和52年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第2分団へ配置
昭和52年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第3分団へ配置
昭和52年 9月27日	消防ポンプ自動車日産パトロールFHN60型購入 第6分団へ配置
昭和52年12月11日	昭和31年10月購入の第7分団麓小型動力ポンプ中央号B-3級老朽のため廃棄
昭和53年 5月 2日	昭和35年12月購入の第6分団消防ポンプ自動車日産ジュニアB-1級老朽のため廃車
昭和53年 7月11日	ヴァリアブルノズル20本購入 各分団へ支給
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第6分団へ配置
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第7分団へ配置
昭和53年 8月15日	小型動力ポンプラビットB-3級購入 第9分団へ配置
昭和53年10月 6日	消防ポンプ自動車購入日産FH60A-2級 第1分団へ配置
昭和53年10月 9日	昭和37年12月購入の第1分団消防ポンプ自動車いすずTXG-30A-1級老朽のため廃車

昭和54年 9月 3日	昭和33年12月購入の第8分団深港小型動力ポンプ中央号ー3級老朽のため廃棄
昭和54年 9月 3日	昭和35年12月購入の第8分団浮津小型動力ポンプ中央号ー3級老朽のため廃棄
昭和54年 9月13日	小型動力ポンプラビットP407Bー3級2台購入 第8分団深港・浮津へ配置
昭和54年11月30日	トランジスターメガホン(E Rー64)2個購入 第2・7分団へ配置
昭和55年 8月11日	小型動力ポンプラビットP407Bー3級2台購入 第3・4分団へ配置
昭和55年 8月22日	小型動力ポンプ積込車トヨペットダブルキャビン1台購入 第5分団大野へ配置
昭和56年 3月18日	昭和37年12月購入の第3分団小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和56年 3月18日	昭和40年9月10日購入の第4分団馬込小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和56年 3月18日	昭和42年11月14日購入の第5分団大野消防機材積込車トヨペット66. 6P s 老朽のため廃車
昭和56年 8月19日	小型動力ポンプラビットP407Bー3級2台購入 第2・8分団へ配置
昭和56年 8月19日	昭和42年10月9日購入の第8分団小型動力ポンプトーハツBー3級老朽のため廃棄
昭和56年 8月19日	昭和41年10月15日購入の第2分団小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和56年11月14日	昭和32年12月及び昭和33年1月購入の第9分団小型動力ポンプ中央号Bー3級老朽のため廃棄
昭和56年11月14日	昭和40年5月31日購入の第3分団小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和57年 8月10日	小型動力ポンプラビットP407MBー3級2台購入 第5分団(大野)・6分団へ配置
昭和57年 9月 6日	昭和41年11月26日購入の第6分団小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和57年 9月 6日	昭和44年9月24日購入の第5分団(大野)小型動力ポンプラビットBー3級老朽のため廃棄
昭和57年11月26日	消防ポンプ自動車日産JーFG160 Aー2級購入 第2分団へ配置
昭和57年12月20日	昭和39年12月29日購入の第2分団消防ポンプ自動車日産ジープAー2級老朽のため廃車
昭和58年11月11日	小型動力ポンプラビットP407ABー3級購入 第4分団(段)へ配置
昭和59年 1月 4日	昭和42年10月9日購入の第4分団(段)小型動力ポンプトーハツBー3級老朽のため廃棄
昭和61年 6月27日	消防ポンプ自動車日産サファリFG6購入 第3分団へ配置
昭和61年 6月30日	小型動力ポンプ積載車日産アトラスWキャブ1t車購入 第5分団(垂桜)へ配置
昭和61年10月 4日	昭和46年12月20日購入の第3分団日産パトロールF140老朽のため廃車 昭和43年11月7日購入の第5分団車(垂桜)トヨペット老朽のため廃車
昭和62年10月 2日	消防ポンプ自動車日産サファリFG161購入 第9分団へ配置
昭和62年10月15日	昭和45年12月24日購入の第9分団日産パトロールFHN60老朽のため廃車
昭和62年12月 2日	小型動力ポンプラビットPー407B 3級2台購入 第9分団(高野)・第6分団(大浜)へ配置
昭和63年 1月19日	昭和45年10月17日購入の第9分団(高野)小型動力ポンプラビットP406 昭和46年10月30日購入の第6分団(大浜)小型動力ポンプラビットP407老朽のため廃棄
昭和63年 8月30日	消防ポンプ自動車日産サファリTーFGY60改購入 第4分団へ配置
昭和63年 9月 1日	昭和47年9月9日購入の第4分団車日産FH60老朽のため廃車

平成 元年 3月 7日	小型動力ポンプラビットP407RM-3級1台購入	第5分団(垂桜)へ配置
平成 元年 3月 8日	昭和48年8月4日購入の第5分団(垂桜)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 元年 8月31日	昭和47年8月20日購入の第8分団(中浜)小型動力ポンプラビットP406 昭和51年8月10日購入の第8分団(車庫)小型動力ポンプ P405A 老朽のため 廃棄	
平成 元年 9月28日	消防ポンプ自動車日産サファリーFGY60購入	第8分団へ配置
平成 元年 9月29日	昭和48年10月31日購入の第8分団車日産F140老朽のため廃車	
平成 元年12月 4日	小型動力ポンプラビットP407RM-3級1台購入	第2分団(中俣)へ配置
平成 元年12月25日	昭和50年7月26日購入の第7分団(辺田)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 2年 3月31日	昭和49年10月14日購入の第3分団(錦町)小型動力ポンプラビットP407 昭和50年7月24日購入の第9分団 (車庫) 小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 2年10月16日	消防ポンプ自動車日産サファリーT-FGY-60購入	第7分団へ配置
平成 2年10月16日	昭和49年12月20日購入の第7分団車日産F140老朽のため廃車	
平成 3年 8月 1日	小型動力ポンプシバウラTF-30MES-3級1台購入	第1分団へ配置
平成 3年 8月28日	昭和49年8月12日購入の第1分団(市木)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 4年11月10日	消防ポンプ自動車日産サファリー96ZFGY60購入	第6分団へ配置
平成 5年 1月11日	昭和50年9月27日購入の第6分団日産FHN60老朽のため廃車	
平成 5年 9月21日	消防ポンプ自動車三菱U-FE337B購入	第1分団へ配置
平成 5年 9月22日	昭和55年10月6日購入の第1分団車日産FH60老朽のため廃車	
平成 5年11月12日	小型動力ポンプトーチハツV38CS1台購入	第1分団へ配置
平成 5年11月15日	昭和51年8月10日購入の第1分団(浜平)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 7年 9月 7日	小型動力ポンプトーチハツV38CS1台購入	第2分団(脇登)へ配置
平成 7年 9月14日	昭和52年8月15日購入の第2分団(脇登)小型動力ポンプラビットP405A 老朽のため廃棄	
平成 7年12月 8日	小型動力ポンプ付積載車トヨタトヨエースWキャブ車購入	第5分団(大野)へ配置
平成 7年12月19日	昭和55年8月22日購入の第5分団 (大野) トヨペット小型動力ポンプ積込車 老朽のため廃車	
平成 8年 3月12日	小型動力ポンプシバウラB-6, 121台購入	第7分団 (辺田) へ配置
	昭和53年8月15日購入の第7分団(辺田)小型動力ポンプラビットP-407 老朽のため廃棄	
平成 8年 3月28日	消防ポンプ自動車トヨタランドクルーザーKC-HZJ75購入	第2分団へ配置
平成 8年 3月31日	消防ポンプ自動車日産J-FG160A-2級	第5分団(垂桜)へ配置替
平成 8年 3月31日	小型動力ポンプ付積載車日産アトラスWキャブ1t車廃車	
平成 8年10月 5日	消防用ホース10本購入	第4分団へ配置
平成 9年 1月 7日	防火外套4着購入	第1・2分団へ配置
平成10年 3月 5日	火点標示用標的2台購入	
平成10年12月11日	小型動力ポンプシバウラSF-655B3級購入	第9分団(車庫)へ配置
平成10年12月11日	昭和53年8月15日購入の第9分団 (車庫) 小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	

平成11年 1月25日	ガソリン携行缶5リットル19缶購入	各分団へ配置
平成11年 8月18日	角型組立水槽1基購入	
平成12年 5月17日	角型組立水槽1基・火点標示用標的1台購入	
平成12年 9月 1日	消防用ホース27本購入	各分団(3) 配置
平成12年12月13日	小型動力ポンプトローハツV55BSXB-3級購入	第8分団(深港)へ配置
平成12年12月13日	昭和54年9月13日購入の第8分団(深港) 小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成13年 7月19日	消防用ホース45本購入	各分団へ配置
平成13年 7月24日	消防団操法用ホース9本 角型組立水槽1基 火点標示用標的1台購入	
平成13年 8月 3日	小型ポンプトローハツV55BSXB-3級購入	第4分団(馬込)へ配置
平成13年 8月 6日	昭和55年8月11日購入の第4分団(馬込) 小型ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成14年 3月27日	火点標示用標的1台購入	
平成14年 8月28日	小型動力ポンプシバウラTF640MHB-3級購入	第3分団へ配置
平成14年 8月28日	昭和55年8月11日購入の第3分団 小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成15年12月 8日	小型動力ポンプシバウラB-3級購入	第2分団へ配置
平成16年 4月 1日	第4分団(段)資機材倉庫廃止	
平成16年 4月 1日	第8分団(浮津)資機材倉庫廃止	
平成16年 5月28日	消防用ホース(操法用) 4本購入	
平成16年 6月25日	小型動力ポンプラビットP455ASD-3級購入	第8分団(中浜)へ配置
平成16年 6月25日	昭和56年8月19日購入の第8分団(中浜) 小型動力ポンプラビットP407 老朽のため廃棄	
平成16年10月 5日	第7分団本部庁舎新築(牛根麓1108-3)	
平成17年 8月 9日	小型動力ポンプラビットP455BS 購入	第6分団(車庫)へ配置
平成17年 8月16日	昭和57年8月10日購入の第6分団(車庫) 小型動力ポンプラビットP406 老朽のため廃棄	
平成18年 8月31日	消防用ホース20本購入	各分団へ配置
平成19年12月21日	第2分団本部庁舎新築	
平成20年10月 8日	消防用ホース10本購入	各分団へ配置
平成20年10月29日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第3分団へ配置
平成20年10月29日	昭和61年9月25日購入の第3分団消防ポンプ自動車日産サファリFG6 第5分団(垂桜)へ配置替	
平成20年10月29日	昭和57年11月26日購入の消防ポンプ自動車J-FG160 A-2級 第5分団(垂桜) 老朽のため廃車	
平成21年 8月27日	小型動力ポンプシバウラSF656MZ 購入	第5分団(垂桜)へ配置
平成21年 8月31日	平成元年3月7日購入の第5分団(垂桜) 小型動力ポンプラビット P407RM-3級老朽のため廃棄	
平成21年10月 6日	浮環(2個)、救命胴衣(4着) 購入	第1・4分団へ配置
平成21年11月20日	消防用ホース10本購入	各分団へ配置
平成23年 3月10日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第4分団へ配置
平成23年 3月10日	消防ポンプ自動車日野デュトロBDG-XZU304E型購入	第9分団へ配置
平成23年 3月14日	昭和63年8月29日購入の第4分団消防ポンプ自動車 日産サファリT-FGY60改	第5分団(垂桜)へ配置替

平成23年 3月14日	昭和61年9月25日購入の第3分団消防ポンプ自動車日産サファリFG6 第5分団（垂桜）老朽のため廃棄
平成23年 3月14日	昭和62年10月2日購入の第9分団消防ポンプ自動車日産サファリFG161 老朽のため廃棄
平成23年 3月20日	第5分団（垂桜）庁舎新築
平成24年 3月30日	スタンド付ハロゲンライト、発電機、ライフジャケット、浮環、 電気メガホン、トランシーバー購入 各分団へ配置
平成24年 3月30日	トーハツ2馬力船外機購入 第1分団へ配置
平成24年11月14日	平成元年12月4日購入の第2分団（中俣器材庫）小型動力ポンプラビット P407RM-3級 器材庫閉鎖のため廃棄
平成24年11月21日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入 第1分団へ配置
平成24年11月22日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入 第8分団へ配置
平成24年11月22日	平成5年9月21日購入の第1分団消防ポンプ自動車（三菱）老朽のため廃棄 平成元年9月28日購入の第8分団消防ポンプ自動車（日産サファリ）老朽のため 廃棄
平成24年12月 1日	消防用ホース20本購入 各分団へ配置
平成25年 7月16日	小型動力ポンプ トーハツVF-53ASB-3級購入 第1分団(浜平班)へ配置
平成25年 7月17日	平成5年11月12日購入の第1分団（浜平班）小型動力ポンプ トーハツV38C G老朽のため廃棄
平成25年11月14日	平成2年10月16日購入の第7分団消防ポンプ自動車（日産サファリ）老朽のため 廃棄
平成25年11月15日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入 第7分団へ配置
平成26年 9月 3日	消防ポンプ自動車日産J-FG160A-2級 第5分団車(垂桜) 老朽のため 廃棄
平成26年11月 5日	消防ポンプ自動車日野デュトロTKG-XZU600E型購入 第6分団へ配置
平成26年11月10日	消防ポンプ自動車日産サファリ96ZFGY60 第5分団(垂桜)へ配置替
平成26年12月16日	国道道路拡張に伴い、新8分団庁舎引き渡し 第8分団へ配置
平成27年 2月27日	総務省消防庁 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車購入 第2分団へ配置
平成27年 3月 3日	平成8年 3月28日購入の第2分団消防ポンプ自動車（日産サファリ）老朽のため 廃棄
平成27年 3月23日	デジタル消防無線運用開始 各分団へ配置
平成27年 8月10日	小型動力ポンプ トーハツ3WF61A B-3級 第7分団（辺田）へ配置
平成27年 8月11日	平成8年8月12日購入の第7分団（辺田）小型動力ポンプシバウラB-3級 TH-35ME8-B老朽のため廃棄
平成27年12月17日	消防防災活動車（トヨタ ハイエース）購入 団本部へ配置
平成28年11月22日	水槽付小型ポンプ積載車TKG-XZU685 PKMMB 購入 第5分団（大野）へ配置
平成30年 8月 6日	安全対策装備品（チェーンソー9台）購入 各分団へ配置
平成30年10月23日	小型動力ポンプ シバウラFF450AS 購入 第9分団へ配置
平成30年11月 9日	昭和62年12月2日購入の小型動力ポンプ 老朽のため廃棄（高野）
令和 元年 5月23日	安全装備品救命胴衣BW-2003型 80着購入 各分団へ配置
令和 2年 2月13日	チェーンソー用保護ズボン 9着購入 各分団へ配置
令和 2年 3月18日	防火衣一式 5組 購入 第3分団へ配置
令和 2年 8月20日	エンジンカッター（9台） 購入 各分団へ配置

令和 3年 9月17日	小型動力ポンプトローハツVF53AS-T B-2級 購入 第3分団へ配置 平成14年8月28日購入の第3分団(車庫)小型ポンプシバウラTF640MH B-3級 老朽のため廃棄
令和 4年11月18日	小型動力ポンプシバウラVF63ASTI B-2級 購入 第4分団へ配置
令和 4年11月24日	平成13年8月3日購入の第4分団(馬込)小型ポンプトローハツV55BSX B-3級 老朽のため廃棄
令和 6年 6月17日	レイニーメガホンタフPlus 購入 各分団へ配置
令和 7年 8月25日	特定小電力トランシーバー(携帯型) 40台購入 各分団へ配置

2 消防ポンプ自動車

(1)本 署 (令和8年4月1日現在)

車 名	車 種	購入年月	排気量cc	ポンプ名	級別	備 考
タンク1号車	日 野	H29年11月	5120	モリタ	A2	水2,000ℓ・CAFS装置
タンク2号車	日 野	R5年3月	5120	モリタ	A2	水1,500ℓ
ポ ン プ 車	日 野	H27年12月	4000	日機	A1	
救 急 車(1号車)	トヨタ	H27年12月	2690			高規格救急車
救 急 車(2号車)	日 産	R7年1月	2480			〃
指 令 車	トヨタ	H20年12月	2690			
電 源 照 明 車	日 野	H24年2月	4000			各救助資機材積載
防 災 活 動 車	トヨタ	H27年12月	2690			
資 材 搬 送 車	ダイハツ	H17年9月	650			軽トラック

(2)分 遣 所

車 名	車 種	購入年月	排気量cc	ポンプ名	級別	備 考
分遣所タンク車	日 野	H22年3月	6400	日機	A2	水2,500ℓ
分遣所救急車	トヨタ	H30年10月	2690			高規格救急車
積 込 車	ダイハツ	R2年12月	650			小型ポンプ積載

3 山林火災資機材置場

(令和8年4月1日現在)

建造年月日	構造及び階	面積㎡	建 設 地 番	施 設
H6.2.15	耐火1	35	新御堂1326-4(内ノ野)	山林火災用資機材倉庫

4 消防水利

(令和8年4月1日現在)

現在設置数	消火栓	防 火 水 槽						プー ル
		小計	60t以上	40～60t未満	20～40t未満	20t未満	井戸式	
454 (279)	294 (186)	151 (84)	1 (1)	83 (83)	47	6	14	9 (9)

* ()内の数字は消防水利の基準に適合する設置数

5 特殊資機材配置一覧表

(令和8年4月1日現在)

区分	品名	配置場所			合計
		本署	分遣所	内ノ野	
一般救助用器具	救助マット	2			2
	救命索発射銃	1			1
	Vストラット	2			2
重量物排除用器具	ホルマトロ 油圧発生装置	1			1
	ホルマトロ スプレッダー	1			1
	ホルマトロ カッター	1			1
	ホルマトロ ラムシリンダー	1			1
	マット型空気ジャッキ	4			4
	可搬ウインチ(チルホール)	1	1		2
	救助用ブロック	1式			1式
	オグラ電動油圧救助器具	1式			1式
切断用器具	エンジンカッター	2	1		3
	チェーンソー	4	1	1	6
	エアーソー	1			1
破壊用器具	弁ケイ	3	2		5
	削岩機	1			1
測定用器具	マルチ型ガス検知器	1	1		2
	張力計	1			1
	熱画像装置	2	1		3
呼吸保護用器具	空気呼吸器一式	13	4		17
	空気ボンベ	40	11		51
	個人警報器	4			4
隊員保護用器具	絶縁用保護具(上下・手袋・長靴)	2	1		3
	防護チャップス	2	1		3
救急教育用器具	レコーディング・レサシアン・ジュニア	1			1
	心肺蘇生法訓練用	12			12

区分	品名	配置場所			合計
		本署	分遣所	内ノ野	
水難救助用器具	救命浮環	5	1		6
	スバリ付深索棒	1			1
	救助ロープ投下袋	2			2
	救命胴衣(笛付)	20	5		25
	水中ライト	4			4
	水中用足ひれ(フィン)	6			6
	水中用手袋(グローブ)	6			6
	水中用シュノーケル・マスクセット	8			8
	救助ボート	2			2
	水中用ブーツ	4			4
	水難救助資材一式	4			4
	ライフガードチューブ	2	1		3
山岳救助用器具	バスケット担架	2			2
	山岳救助資機材一式	1			1
	パーティカルストレッチャー	1			1
その他の器具救助	発電機 EU6 (4) EU9 (3) EU16 (1)	6	2		8
	投光器一式(三脚・コードリール含)	4	1		5
	電源照明車(照明塔、LED450W×2)	1			1
山林火災用資器材	ジェットシューター	6	2	40	54
	ウォーターチャージャー	1		1	2
	アルミ製背負子			15	15
	林野火災用個人装備一式 内訳 (リュックサック・ナタ・ノコ・カマ・GISコップ 水筒・キャップライト・保護メガネ・ハーネス)			20組	20組
	可搬式送水装置 内訳 ポンプ(2)・エンジン(2)・ホース(20) 吸管(2)・ノズル(2)・組立水槽(4)	1式		1式	2式
	丸型組立水槽(1.0m³)	1		1	2
	チェンソー	2	1	2	5
	動力刈払機	1		2	3
	双眼鏡	1		1	2
	携帯マイク			2	2
	ヘリ・タンク			2	2
	携帯用風向風速計			1	1
	吹き流し			1	1
	ウォーターチャージャー用延長ホース	3		3	6

6 車庫及び器材庫

(令和8年4月1日現在)

分 団	施 設 名	構造・面積 (㎡)	建造年月日	備考
1	第1分団車庫	市役所庁舎内	H13年11月26日	ポンプ車1台
	浜平器材庫	耐火1F・6.00	S53年3月31日	小型ポンプ1台
2	第2分団車庫	耐火1F・73.72	H19年12月21日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
3	第3分団車庫	耐火2F・83.75	H元年12月15日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
4	第4分団車庫	耐火1F・75.00	R2年3月30日	ポンプ車1台、小型ポンプ1台
5	第5分団車庫(大野)	耐火1F・29.75	S59年8月20日	水槽付小型ポンプ積載車
	第5分団車庫(垂桜)	木造1F・29.40	H23年3月20日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
6	第6分団車庫	耐火1F・53.37	S54年3月31日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
7	第7分団車庫	耐火1F・73.74	H16年10月14日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
8	第8分団車庫	耐火1F・75.00	H26年12月16日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台
9	第9分団車庫	耐火1F・75.00	H29年12月15日	ポンプ車1台・小型ポンプ1台

7 退避壕

(令和8年4月1日現在)

設 置 場 所	建造年月日	構 造	面 積
脇登 (協和地区)	S54年1月31日	鉄筋コンクリート造	10㎡
小浜 (協和地区)	〃	〃	〃
早崎 (牛根麓地区)	H20年3月31日	〃	21㎡
前崎 (牛根麓地区)	〃	〃	〃
居世神 (牛根麓地区)	S54年1月31日	〃	10㎡

救急・救助



1 年別救急業務取扱状況

年 別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員 A	事故種別の内容(搬送人員)B												出勤率B/A	
				火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	目 損 行 為	急 病	そ の 他	交 通 事 故 %	急 病 %	
49	215(98)	191	209	2	0	1	72	4	1	14	1	1	106	7	34	50	
50	220(97)	192	217	0	0	1	78	4	1	23	3	5	88	14	36	41	
51	297(107)	246	274	0	3	1	104	16	2	23	1	4	105	15	38	38	
52	335(162)	291	311	1	0	3	92	7	3	31	2	5	132	35	27	39	
53	315(141)	282	300	2	0	1	77	7	4	45	9	1	131	23	26	44	
54	341(146)	302	319	0	0	0	94	8	3	40	9	3	135	27	25	43	
55	420(197)	361	392	1	0	2	98	12	3	56	2	5	180	33	20	48	
56	404(186)	357	380	2	0	0	91	8	5	36	4	1	194	39	24	51	
57	449(183)	392	418	1	0	2	98	16	5	47	3	3	198	45	23	47	
58	517(148)	458	487	0	0	0	109	15	6	57	3	3	241	53	22	49	
59	410(145)	370	396	0	0	1	99	7	3	47	5	4	168	62	25	42	
60	479(170)	425	449	4	1	1	82	6	6	40	5	5	212	87	18	47	
61	469(163)	424	452	0	0	0	117	5	1	51	5	2	181	90	26	40	
62	515(129)	471	487	1	2	2	101	8	3	59	4	7	201	99	21	41	
63	502(120)	457	489	0	0	2	101	9	4	41	1	5	235	91	21	48	
元	508(105)	469	491	0	5	0	102	4	3	44	2	8	233	90	21	47	
2	530(109)	493	530	0	0	0	117	10	3	47	7	2	239	105	22	45	
3	522(95)	487	505	3	0	0	86	8	4	45	4	4	255	96	17	50	
4	489(100)	447	469	0	0	0	91	8	1	41	4	1	229	94	19	49	
5	559(99)	521	551	1	5	0	102	8	4	56	1	3	269	102	19	49	
6	499(71)	470	480	2	0	0	99	9	1	56	2	1	246	64	21	52	
7	585(102)	557	581	2	0	0	117	5	3	61	2	2	304	85	20	52	
8	560(106)	533	566	0	0	2	126	9	4	51	1	5	283	85	22	50	
9	653(107)	611	642	5	0	1	111	12	2	61	3	5	339	103	17	53	
10	599(107)	569	591	1	0	0	89	7	5	63	4	5	320	97	15	54	
11	694(134)	663	686	0	0	3	88	7	4	69	4	6	401	104	13	58	
12	666(102)	637	671	5	0	0	107	7	4	65	1	4	329	149	16	49	
13	742(112)	698	748	2	0	1	145	8	2	81	2	6	378	128	19	51	
14	775(104)	747	793	0	0	1	146	12	8	75	1	8	402	140	18	51	
15	816(107)	786	814	1	0	0	88	7	10	91	2	8	426	181	11	52	
16	836(198)	790	819	3	0	1	113	10	2	87	3	10	400	190	14	49	
17	916(205)	885	909	2	0	4	99	9	4	91	3	10	494	193	11	54	
18	899(144)	855	881	1	0	1	89	13	6	110	7	9	419	226	10	48	
19	947(235)	902	927	0	0	1	115	8	3	104	3	1	438	254	12	47	
20	970(176)	832	953	0	0	1	119	5	3	98	1	2	521	203	12	55	
21	896(199)	839	866	0	0	9	99	5	3	104	0	3	431	212	11	50	
22	885(123)	844	863	1	0	0	115	3	2	94	0	8	470	170	13	54	
23	890(171)	832	858	0	0	0	109	7	1	92	0	2	473	174	13	55	
24	935(217)	900	942	0	0	2	71	6	1	119	1	7	500	227	7	53	
25	989(224)	941	954	2	0	2	82	8	1	108	1	6	541	203	8	56	
26	1028(299)	984	996	0	0	2	93	5	6	108	3	1	553	225	9	55	
27	920(278)	886	896	2	0	3	77	10	2	108	1	1	531	161	11	59	
28	927(325)	898	912	0	0	0	57	6	3	145	0	1	510	190	6	55	
29	1007(319)	965	978	0	0	0	77	8	1	118	2	0	573	199	8	59	
30	1050(342)	1012	1035	0	0	1	94	6	2	138	3	3	611	177	9	59	
元	999(341)	971	981	0	0	1	60	17	6	135	1	1	593	167	6	60	
2	981(171)	948	956	0	0	0	59	7	10	150	0	0	545	185	6	60	
3	919(384)	888	904	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155	4	62	
4	1010(370)	959	968	0	0	2	61	7	6	131	1	3	603	154	6	62	
5	1113(433)	1070	1081	0	0	3	64	11	2	163	3	1	690	144	6	64	
6	1126(437)	1069	1076	0	0	1	60	10	4	159	0	4	677	161	6	63	
7	1103(417)	1048	1059	1	0	2	54	8	3	162	2	0	684	143	5	65	

※出場件数欄の()内は市外搬送件数。(昭和49年～令和7年)

2 過去5年間の救急業務実施状況

令和7年中

区分		全 出 場 件 数	搬 送 人 員	出場件数の内訳											計
				火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
令和7年	1月	122	119	1			2			19			92	8	122
	2月	92	89				4	1		13	1		59	14	92
	3月	94	92				2	1		17		1	58	15	94
	4月	90	85				7	1		11	1		56	14	90
	5月	84	82			1	6			9			57	11	84
	6月	90	82				4	2	2	12			60	10	90
	7月	83	80			1	4	2		11			51	14	83
	8月	111	107				5			15			78	13	111
	9月	87	87				3	1		9			63	11	87
	10月	86	80				1	1		14			57	13	86
	11月	77	74				5		1	24			33	14	77
	12月	87	82			1	10			15			47	14	87
	計	1103	1059	1	0	3	53	9	3	169	2	1	711	151	1103
令和6年		1126	1076	0	0	1	60	10	4	163	1	6	719	162	1126
令和5年		1113	1081	0	0	4	58	11	2	166	3	5	716	148	1113
令和4年		1010	968	0	0	4	58	7	7	133	1	4	640	156	1010
令和3年		919	904	1	0	0	41	6	3	139	3	5	566	155	919
令和2年		981	956	1	0	0	55	7	9	154	0	3	565	187	981

3 時間帯別・曜日別救急出場状況

(件)

令和7年中

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0 : 00～2 : 00				2			3			22	3	30
2 : 00～4 : 00							3			26	1	30
4 : 00～6 : 00				1	1		6			34	1	43
6 : 00～8 : 00				5			18			57	4	84
8 : 00～10 : 00			1	5	1	1	30			92	22	152
10 : 00～12 : 00			1	9	4		31			80	24	149
12 : 00～14 : 00				7	2		19			76	29	133
14 : 00～16 : 00				11	1	1	16			86	26	141
16 : 00～18 : 00	1			12		1	22	1	1	83	24	145
18 : 00～20 : 00			1	1			9	1		72	5	89
20 : 00～22 : 00							8			53	9	70
22 : 00～24 : 00							4			30	3	37
合 計	1	0	3	53	9	3	169	2	1	711	151	1103
月			1	9	4		27			125	20	186
火				14	1	1	26			102	38	182
水				5			18	1		107	24	155
木				6			25	1	1	85	21	139
金				10	3		26			97	24	160
土	1		1	5		2	21			85	13	128
日			1	4	1		26			110	11	153
合計	1	0	3	53	9	3	169	2	1	711	151	1103

4 事故種別年齢分別搬送人員

令和7年中

署所名	(人)												計
	種別 区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
本署	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	3	0	0	1	0	0	11	1	16
	少年	0	0	1	3	0	3	0	2	0	7	1	17
	成人	0	0	0	16	8	0	19	0	0	100	26	169
	高齢者	1	0	1	19	0	0	122	0	0	492	109	744
	計	1	0	2	41	8	3	142	2	0	610	137	946
分遣所	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	成人	0	0	0	9	0	0	2	0	0	8	0	19
	高齢者	0	0	0	4	0	0	18	0	0	64	6	92
	計	0	0	0	13	0	0	20	0	0	74	6	113
合計	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	3	0	0	1	0	0	12	1	17
	少年	0	0	1	3	0	3	0	2	0	8	1	18
	成人	0	0	0	25	8	0	21	0	0	108	26	188
	高齢者	1	0	1	23	0	0	140	0	0	556	115	836
	計	1	0	2	54	8	3	162	2	0	684	143	1059

新生児：生後28日以内
 乳幼児：28日以上7歳未満
 少年：7歳以上18歳未満
 成人：18歳以上65歳未満
 高齢者：65歳以上

5 被搬送者の疾病程度

令和7年中

署所名	種別 区分	(人)											計
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
本署	死亡	0	0	1	0	0	0	2	0	0	8	0	11
	重症	1	0	0	3	2	0	8	0	0	32	30	76
	中等症	0	0	1	22	4	1	88	0	0	414	103	633
	軽症	0	0	0	16	2	2	44	2	0	156	4	226
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	2	41	8	3	142	2	0	610	137	946
分遣所	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6	1	10
	中等症	0	0	0	3	0	0	15	0	0	53	5	76
	軽症	0	0	0	7	0	0	5	0	0	15	0	27
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	13	0	0	20	0	0	74	6	113
合計	死亡	0	0	1	0	0	0	2	0	0	8	0	11
	重症	1	0	0	6	2	0	8	0	0	38	31	86
	中等症	0	0	1	25	4	1	103	0	0	467	108	709
	軽症	0	0	0	23	2	2	49	2	0	171	4	253
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	2	54	8	3	162	2	0	684	143	1059

重症：初診時で3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：入院加療が必要なもので重症にいたらないもの

軽症：入院加療の必要のないもの

6 現場到着所要時間別出場件数調

令和7年中

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
急病	5	37	427	226	16	711	1	33	8.8
交通事故	2	4	16	20	11	53	1	28	12.5
一般負傷	2	9	96	57	5	169	1	24	8.9
その他	5	34	108	17	6	170	1	27	6.8
合計	14	84	647	320	38	1103			9.3

- (注) 1. 本表は、入電から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載すること。
 2. 現場到着に要したそれぞれの最短・最長の各時間は、当該時間数(単位:分、整数)を記載すること。
 3. 現場到着に要した平均時間は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記載すること。

7 収容所要時間別搬送人員調

令和7年中

収容所要 時間 事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計		収容最短 所要時間	収容最長 所要時間	収容平均 所要時間
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外			
急病	0	0	13	1	131	2	386	61	150	115	4	2	684	181	15	141	43.1
交通事故	0	0	0	0	2	0	23	9	29	26	0	0	54	35	18	109	64.3
一般負傷	0	0	0	0	23	0	84	16	52	46	3	3	162	65	19	148	50.3
その他	0	0	5	1	9	1	81	77	64	64	0	0	159	143	11	110	57.5
合計	0	0	18	2	165	3	574	163	295	251	7	5	1059	424			53.8

- (注) 1. 本表は、救急隊の入電から、傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載すること。
 2. 搬送に要したそれぞれ最短・最長の各時間は、当該時間数(単位:分、整数)を記載すること。
 3. 搬送に要した平均時間は、少数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記載すること。

8 救急隊員の行った応急処置状況

令和7年中

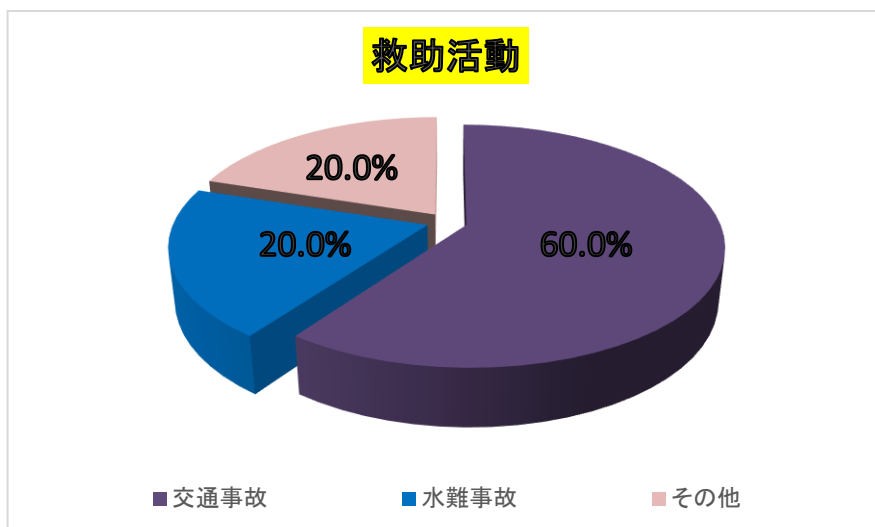
事故 種別	応急 処置	止 血	固 定	心肺 蘇生	酸素 吸入	気道 確保	保 温	被 覆	除 細動	特定行為			そ の 他	計
										心肺 停止 前	心肺 停止 後	薬 剤 投 与		
火 災							1	1						2
自然災害														0
水 難					1		2				1	1	1	6
交通事故		2	35		14		19						3	73
労働災害		3	2		2		3							10
運動競技		1											2	3
一般負傷		23	50	3	12		52			1	3	3	18	165
加 害			1											1
自損行為														0
急 病		3	7	13	211	1	242		2	4	13	10	66	572
その他		2	8		39		39						11	99
計		34	103	16	279	1	358	1	2	5	17	14	101	931

9 救助活動

出場件数の総数は10件（前年 8 件）で、事故種別で見ると交通事故 6 件、水難事故 2 件、その他 2 件となっている。

令和 7 年中

交通事故	水難事故	機械事故	火災	一般負傷	自然災害	その他	合計
6	2	0	0	0	0	2	10

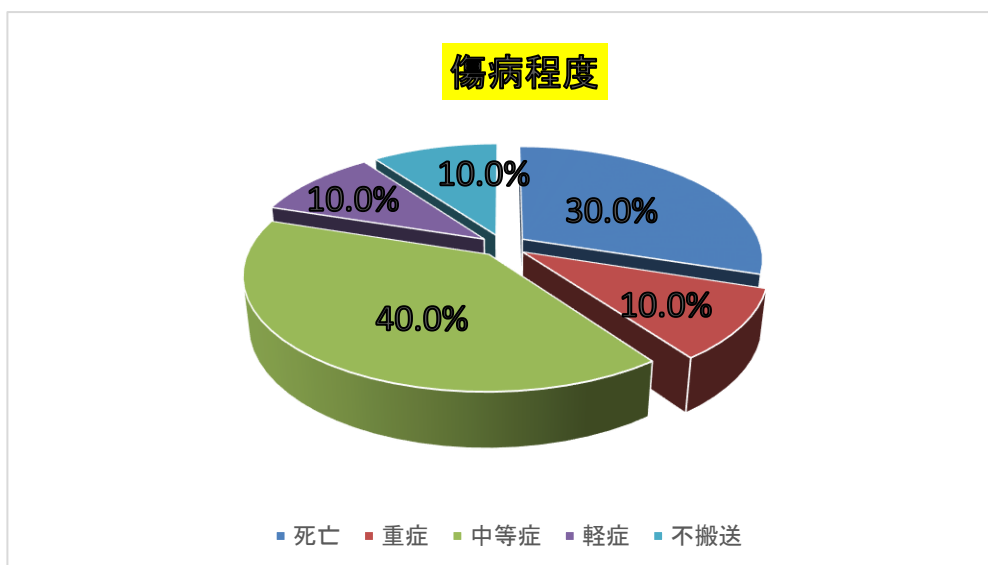


傷病程度割合

救助件数10件中、多数傷病者活動は 0 件、総要救助者数は 9 名となっている。

令和 7 年中

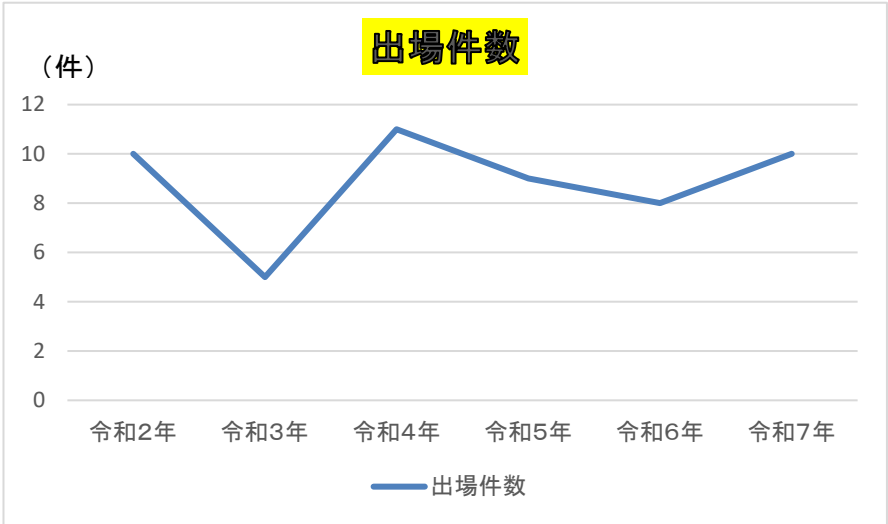
死亡	重症	中等症	軽症	不搬送	合計
3	1	4	1	1	10



年別出場状況

令和7年中

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出場件数	10	5	11	9	8	10
活動件数	9	4	11	9	7	8
救助人員	10	5	16	11	9	9



火 災



1 年別火災発生状況

損害額(単位 千円)
焼面積(建物㎡・林野アール)

年 別	件 数	火 災 種 別					建 物					林 野		車 輦	船舶	その他	合計
		建 物	林 野	車 輦	船 舶	そ の 他	焼 面 積	損 害 額	棟 数	世 帯 数	人 数	焼 面 積	損 害 額	損 害 額	損 害 額	損 害 額	損 害 額
43	18	8	5			5	234	2,508	12	7	37	32	123			4	2,635
44	10	6	2	1		1	225	1,239				131	61	1,000			2,300
45	17	12	4			1	1,037	10,436	30	17	49	56	52				10,488
46	19	7	10	1	1		248	3,575	8	5	16	546	1,891	300	1,900		7,666
47	12	10	2				299	1,970	12	7	24	920	1,152				3,122
48	11	6		4		1	957	19,776	25	6	21			175		10	19,961
49	11	9	2				1,130	29,956	26	18	51	20	5				29,961
50	6	3	3				334	4,811	9	6	13	126	376				5,187
51	13	7	4	2			399	9,721	10	7	20	49	105	16			9,842
52	16	9	2	1		4	505	18,412	13	6	11	10		10		80	18,502
53	16	6	6	2	1	1	415	19,618	17	13	44	18	25	370	12,000		32,013
54	9	2	1	2		4	278	2,321	4	2	6	1	15	960		400	3,696
55	9	8	1				506	24,474	14	7	24	1	1				24,475
56	9	6	2	1			472	17,420	8	5	14	92	666	550			18,636
57	16	10	1			5	459	25,115	13	12	31	2				42	25,157
58	16	12	1		1	2	490	10,549	19	8	35	4	26		1,270	10	11,855
59	10	6	1			3	124	3,131	10	6	10	1				1,000	4,131
60	13	13					4,183	662,553	20	9	22					8	662,561
61	8	7	1				134	5,546	13	8	24						5,546
62	16	12	1	3			110	3,191	13	9	35	2		368			3,559
63	11	10				1	474	11,574	15	9	23						11,574
元	13	10		1		2	549	21,656	10	7	11			5		1	21,662
2	12	10		2			108	32,507	12	11	33			270			32,777
3	18	13	1			4	1,379	18,802	17	12	30	4	20				18,822
4	7	5	1	1			116	2,147	5	3	15	60		2			2,149
5	11	6		2		3	26	120	6	4	7			20		1	141
6	26	6	2	1		17	437	9,274	12	5	22	15	25	10		775	10,084
7	15	7		1		7	908	28,646	15	10	30			1,270			29,916
8	12	8	1			3	457	16,212	13	4	11	22					16,212
9	19	4	2	1		12	505	18,560	12	7	20	62	609	2,520			21,689
10	11	4		1		6	359	6,972	6	2	5			70		360	7,402
11	15	8		1		6	140	4,197	13	8	24			100			4,297
12	16	5		2		9	152	10,862	5	4	9			1,050			11,912
13	16	7		2		7	184	8,157	8	5	11			1,048			9,205
14	19	7		1	1	10	21	453	8	2	7			100	300		853
15	25	10				15	95	3,879	9	9	21					10	3,889
16	33	13		2		18	466	40,854	8	8	21			1500		40	42,394
17	21	9		1		11	549	19,284	13	10	22			10		25	19,319
18	21	7	1	1		12	1,216	35,340	8	4	10	2		600		404	36,344
19	21	8		3		10	580	46,345	15	10	22			60			46,405
20	13	6				7	504	24,011	8	5	13					14	24,025
21	27	7		2	1	17	242	18,031	9	7	22			600	100	17	18,748
22	11	8		2		1	1,267	41,342	15	7	14			2899			44,241
23	10	5				5	436	5,090	7	5	8					7	5,097
24	10	5		1		4	403	19,339	8	6	10					18	19,357
25	13	8		2		3	701	41,700	18	8	15			100		90	41,890
26	6	2		1		3	920	31,740	3	0	0			5		200	31,945
27	6	3		1		2	267	10,336	4	2	3			10		20	10,366
28	12	4				8	390	22,327	6	3	5						22,327
29	6	1		1		4	1	2	1	1	1			2,533			2,535
30	6	3	1	1		1	1,067	26,966	4	1	2	300	350	689			28,005
元	5	2		2		1	100	6,727	3	1	1			205			6,932
2	5	1		1		3	42	1,676	1	1	1			150			1,826
3	8	1		1		6	15	140	1					105			245
4	7	2				5	130	9,823	2	1	2						9,823
5	10	2				8	16	6	3	2	2						6
6	5	2				3	177.39	0	5	3	3						0
7	14	4		1		9	284.7	3,680	10	2	4						3,680

2 過去5年間の原因別火災件数

原因別 \ 年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
たばこ					1
たき火	4	4	6		2
火あそび				1	
こんろ			1		1
放火					
風呂かまど					
ストーブ					
放火の疑い					
マッチ・ライター	1				
煙火					
煙突・煙道					
電気		1		2	
機関内配線					
線香					
溶接機					
その他	2	2	3	2	8
不明・調査中	1				2
計	8	7	10	5	14

3 令和7年中火災発生状況

番号	月 日	種 別	原 因	棟 数				焼 失 m ² 面 積 a	焼 損 数	損 害 額 (千円)	覚 知 別
				全	半	部	ぼや				
1	1月17日	建物	たばこ				1	0.15	1	15	119(報知電話)
2	1月18日	その他	焚き火					86,38			119(報知電話)
3	2月17日	その他	火入れ					51.45			119(報知電話)
4	2月27日	建物	焚き火	3		1	2	154,82	6	1,976	119(報知電話)
5	4月9日	その他	火入れ					2922			119(報知電話)
6	6月29日	その他	火入れ					370			119(報知電話)
7	7月6日	建物	火入れ	1				23,94	1		119(報知電話)
8	7月7日	その他	不明					110			119(報知電話)
9	8月16日	車両	リチウム電池								事後開知
10	8月29日	建物	不明	1		1		78、96	2	1,683	119(報知電話)
11	10月15日	その他	火入れ					636			119(報知電話)
12	11月2日	その他	不適用途					1,53		3	その他
13	11月8日	その他	火入れ					54,08			119(報知電話)
14	12月28日	その他	火入れ					585,42			119(報知電話)

4 垂水市における主な建物火災

出火年月日	棟数	焼失面積(m ²)	損害額(千)	発生場所	原因
昭和27年9月24日	38	1,462	9,940	海潟(温泉場)	子供の火遊び
昭和30年11月5日	18		19,880	〃	不明
昭和32年1月31日	40	3,170	72,009	上町(市役所付近)	〃
昭和35年10月14日	5	337	2,800	高城(今川原付近)	〃
昭和35年10月26日	7	290	2,024	〃	〃
昭和36年10月26日	3	178	1,275	海潟(温泉場)	〃
昭和45年1月15日	12	523	3,981	市木(野久妻)	ローソク
昭和48年11月16日	14	409	12,967	柊原(柊原下)	取灰
昭和49年11月14日	16	736	23,770	牛根境(下境)	タバコ
昭和50年11月25日	7	301	4,646	柊原(みのるストア付近)	不明
昭和52年6月1日	5	394	16,568	新城(大都)	風呂かまど
昭和53年5月30日	8	236	14,091	牛根境(中園)	ローソク
昭和60年5月23日	3	3,485	627,585	本城字星原(理喜)	不明
平成18年5月3日	2	907	21,934	田神(駒ケ丘)	溶接器
平成19年12月22日	8	368	42,235	牛根境(下境)	石油ストーブ
平成22年12月21日	1	957	15,530	田神(駒ケ丘)	溶接器
平成24年9月18日	5	312	11,850	市木(下市木2区)	タバコ
平成25年2月2日	7	262	23,590	浜平(芝原)	石油ストーブ
平成26年9月7日	2	920	31,740	田神(駒ケ丘)	溶接器
平成27年2月15日	1	77.82	3,950	海潟(飛岡)	タバコ
平成28年2月20日	2	63.53	9,377	柊原(新生)	不明
平成30年12月2日	2	1,106	25,984	田神(駒ケ丘)	ガスファンヒーター
平成30年12月3日	2	1,106	25,984	田神(駒ケ丘)	ガスファンヒーター
令和1年9月20日	1	3	33	二川(高野)	不明
令和1年10月7日	1	68	2,408	市木(中元垂水)	ハンドトーチ
令和2年3月15日	1	42	1,676	浜平(錦町)	不明
令和4年7月1日	1	118	9,823	市木(下元垂水)	テーブルタップ

5 自主防火団体

幼年消防クラブ

幼年期における防火のしつけ及び防火思想の教育等を図ることを目的として幼稚園・保育園の園児等を対象に結成された組織である。

(令和8年4月1日現在)

クラブ名称	結成年月日	クラブ員数
慈恩保育園消防クラブ	昭 和 6 3 年 4 月 1 日	17
認定水之上こども園幼年消防クラブ	平 成 元 年 4 月 1 日	12
さざなみ保育園幼年消防クラブ	平 成 元 年 4 月 1 日	17
垂水カトリック幼稚園幼年消防クラブ	平 成 1 0 年 7 月 1 日	26
新城保育園幼年消防クラブ	平 成 2 8 年 4 月 1 日	18
江ノ島幼稚園幼年消防クラブ	令 和 3 年 1 0 月 1 日	13



(令和7年度幼年消防フェスタ)

予防・危険物



1 防火対象物現況

(令和8年4月1日現在)

防火対象物			小計	計	
(1)項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場		4	16	
	ロ 公会堂又は集会場		12		
(2)項	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			2	
	ロ 遊技場又はダンスホール		2		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等				
	ニ カラオケボックス等				
(3)項	イ 待合、料理店の類			34	
	ロ 飲食店		34		
(4)項	百貨店、マーケット、物品販売業を営む店舗又は展示場		30	30	
(5)項	イ 旅館、ホテル、宿泊所の類		25	118	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅		93		
(6)項	イ 病院、診療所又は助産所	(1)	1	6	
		(2)			
		(3)	1		
		(4)	4		
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	(1)	15	16	
		(2)			
		(3)			
		(4)			
		(5)	1		
	ハ 老人デイサービスセンター等	(1)	2	16	
		(2)			
		(3)	7		
		(4)	1		
		(5)	6		
	ニ 幼稚園又は特別支援学校		1	1	
(7)項	小・中・高等学校、高等専門学校、各種の学校の類		27	27	
(8)項	図書館、博物館、美術館の類		1	1	
(9)項	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			5	
	ロ イ以外の公衆浴場		5		
(10)項	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		1	1	
(11)項	神社、寺院、教会の類		13	13	
(12)項	イ 工場又は作業場		62	62	
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ				
(13)項	イ 自動車車庫又は駐車場		8	8	
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
(14)項	倉庫		47	47	
(15)項	前各項に該当しない事業場		227	227	
(16)項	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が（一）～（四）、（五）イ、（六）又は（九）イの防火対象物の用途に供されているもの		40	50	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		10		
(16の2)項	地下街			0	
(16の3)項	準地下街			0	
(17)項	文化財保護法により認定された重要文化財			0	
(18)項	延長50m以上のアーケード			0	
(19)項	市町村の指定する山林			0	
(20)項	総務省令で定める舟車			0	
			合計	680	680

2 危険物施設数

(令和8年4月1日現在)

数量の別 施設の区分	貯 蔵 所							取 扱 所							
	屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵所	屋内タンク	地下タンク	貯蔵所	簡易タンク	貯蔵所	移動タンク	貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所 (第一種)	一般取扱所	計
5 倍 以 下	1	2			25				8					3	39
5 倍 を こ え 1 0 倍 以 下		3			3							3		2	11
1 0 倍 こ え 5 0 倍 以 下		4			2				1			3			10
5 0 倍 を こ え 1 0 0 倍 以 下												4			4
1 0 0 倍 を こ え 1 5 0 倍 以 下												3			3
1 5 0 倍 を こ え 2 0 0 倍 以 下												4			4
2 0 0 倍 を こ え 1 0 0 0 倍 以 下															0
計	0	9		0	30		0		9		0	17	0	5	70

3 建築同意事務処理状況

(令和7年度)

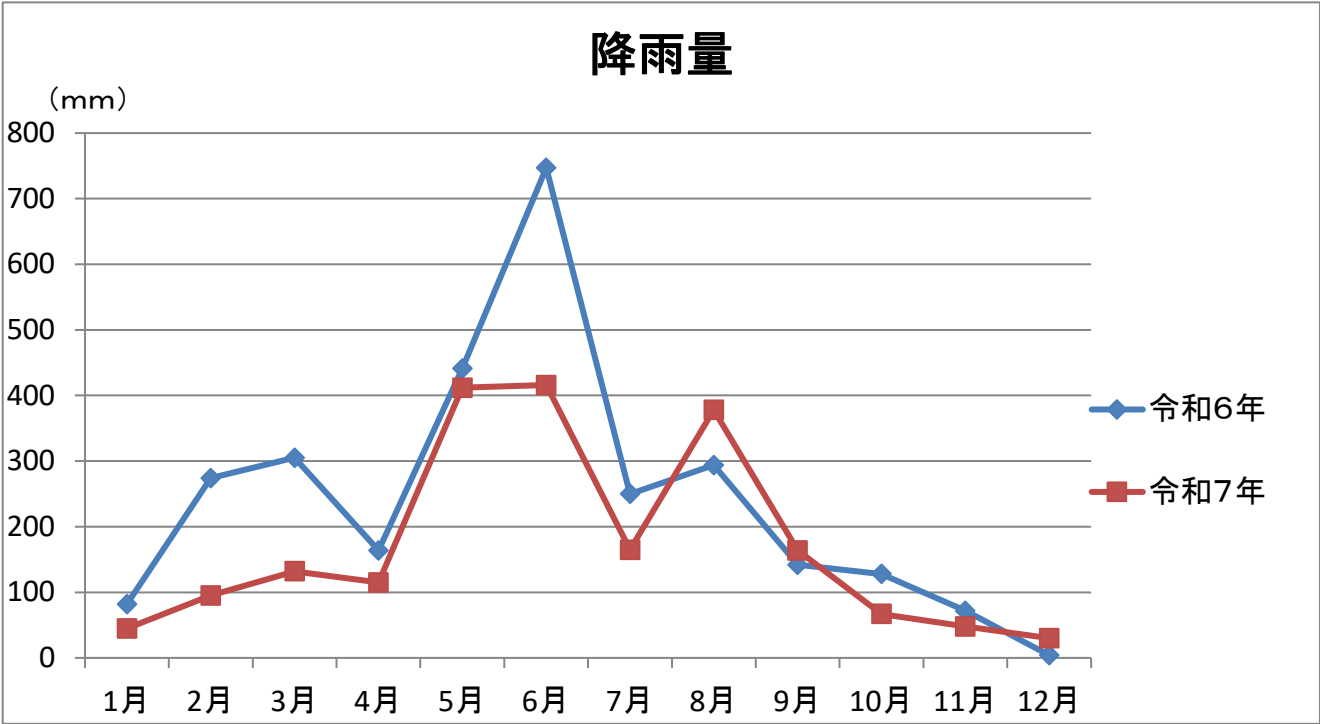
申請要旨	同 意		小 計	件 不 同 数 意	不 同 意 の 理 由				総 計
	指導 無し	指導 有り			構造	設備	避難	その他	
新 築	10								10
増 築									0
改 修									0
移 転									0
修 繕									0
模様替え									0
用途変更									0
その他	3								3
合 計	13	0	13	0	0	0	0	0	13

気 象



1 年間降雨量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総雨量
令和6年	82	274	305	164	441	747	250	294	142	128	72	4	2,903
令和7年	45	95	132	115	412	416	165	378	164	67	48	30	2,067



2 気象(令和7年中)

種別 月	気温 (℃)			湿度 (%)			風速 (m/s)	
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高
1	9	12	5	54	93	30	4	11
2	7	14	1	51	100	26	5	12
3	13	20	4	65	100	28	3	11
4	16	22	8	60	100	9	4	11
5	19	26	12	72	100	27	3	8
6	24	30	18	79	100	35	3	10
7	26	32	20	75	100	52	3	8
8	26	30	22	79	100	48	3	13
9	26	29	20	82	100	55	2	5
10	24	32	16	71	100	37	2	7
11	18	25	11	61	91	40	3	8
12	14	21	6	62	94	34	3	10

※消防署内での測定のため参考扱い

通 信



1 無線局配置状況

(1) 消防本部

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 (1)3
固定局	通信指令室	たじゅうほんぶ				
卓上型移動局	通信指令室	しょうぼうたるみず	○	○	○	○
車載型移動局	タンク 2 号車	たしょうたるみずたんく 2	○	○	○	○
	指令車	たしょうたるみずしき 1	○	○	○	○
	電源照明車	たしょうたるみずきゅうじょ 1	○	○	○	○
	ポンプ車	たしょうたるみずぼんぷ 1	○	○	○	○
	防災活動車	たしょうたるみずぼうかつ 1	○	○	○	○
	タンク 1 号車	たしょうたるみずたんく 1	○	○	○	○
	救急 1 号車	たしょうたるみずきゅうきゅう 1	○	○	○	○
	救急 2 号車	たしょうたるみずきゅうきゅう 2	○	○	○	○
携帯型移動局	消防本部及び 消防署	たしょうたるみずたんく 12	○	○	○	○
		たしょうたるみずしき 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずきゅうじょ 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずぼんぷ 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずぼうかつ 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずたんく 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずきゅうきゅう 11	○	○	○	○
		たしょうたるみずきゅうきゅう 12	○	○	○	○

(2) 牛根分遣所

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 (1～3)
基地局	牛根分遣所	しょうぼううしね	○	○	○	
車載型移動局	タンク車	たるしょううしねたんく1	○	○	○	○
	積込車	たるしょううしねつみこみ1	○	○	○	○
	救急車	たるしょううしねきゅうきゅう1	○	○	○	○
携帯型移動局	牛根分遣所	たるしょううしねたんく11	○	○	○	○
		たるしょううしねぼんう11	○	○	○	○
		たるしょううしねきゅうきゅう11	○	○	○	○

(3) 清掃センター基地局

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 (1～3)
基地局	局舎	しょうぼうたるみず	○	○	○	○
固定局	局舎	たじゅうせいそう				

(4) 新城基地局

無線局種別	設置場所	呼出し名称	取込み周波数			
			活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 (1～3)
基地局	局舎	しょうぼうしんじょう	○	○	○	

(5) 携帯移動局

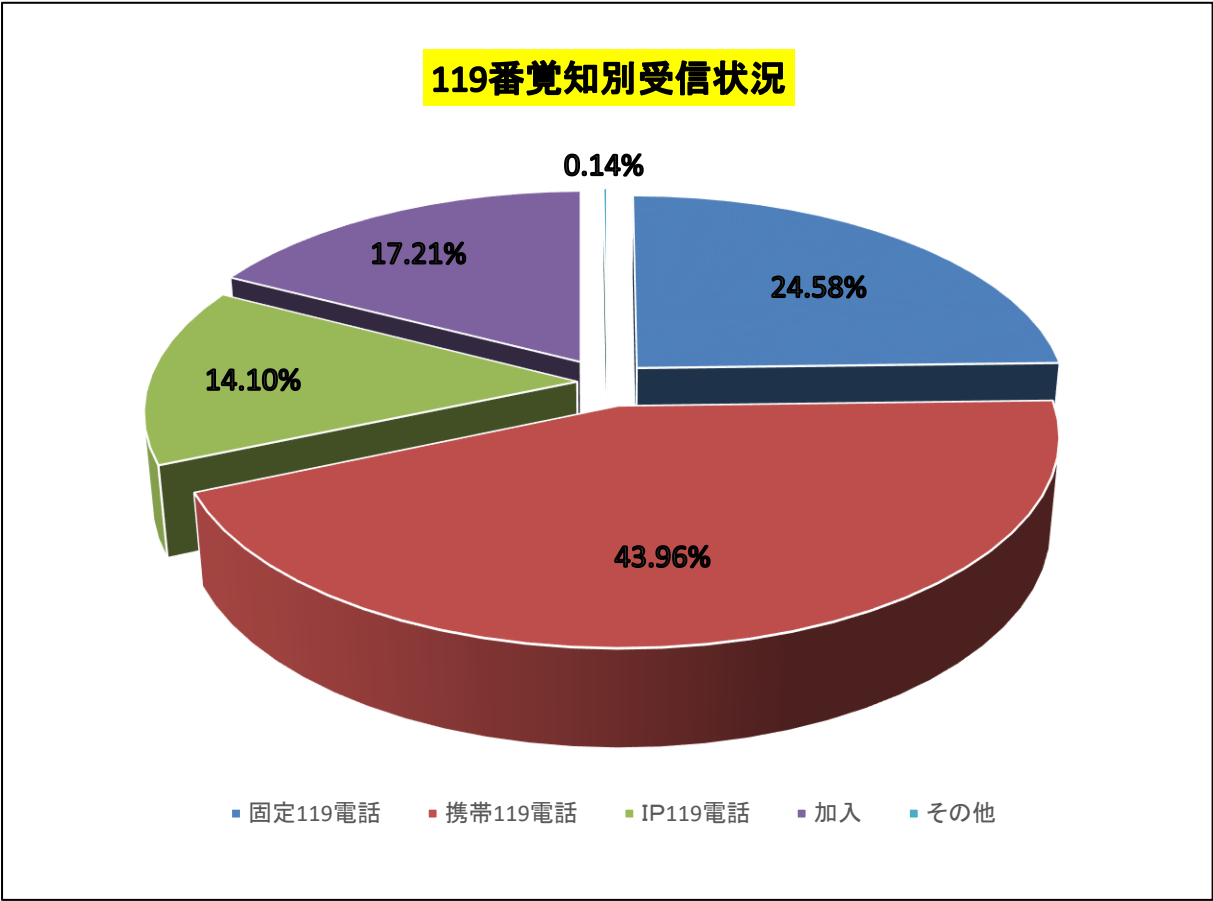
無線局種別	設置場所	呼出し名称
防災相互	消防署	たるしょうそうご1
		たるしょうそうご1

2 緊急通報内容

(1) 緊急通報覚知別受信状況

令和 7 年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
固定119電話	31	27	34	20	23	27	20	30	27	29	36	36	340
携帯119電話	63	50	55	46	55	60	51	63	41	34	35	55	608
I P 119電話	22	16	11	13	12	11	9	15	16	19	25	26	195
加入	18	21	25	26	16	20	21	24	17	17	15	18	238
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	134	114	125	105	106	118	101	132	101	99	113	135	1383

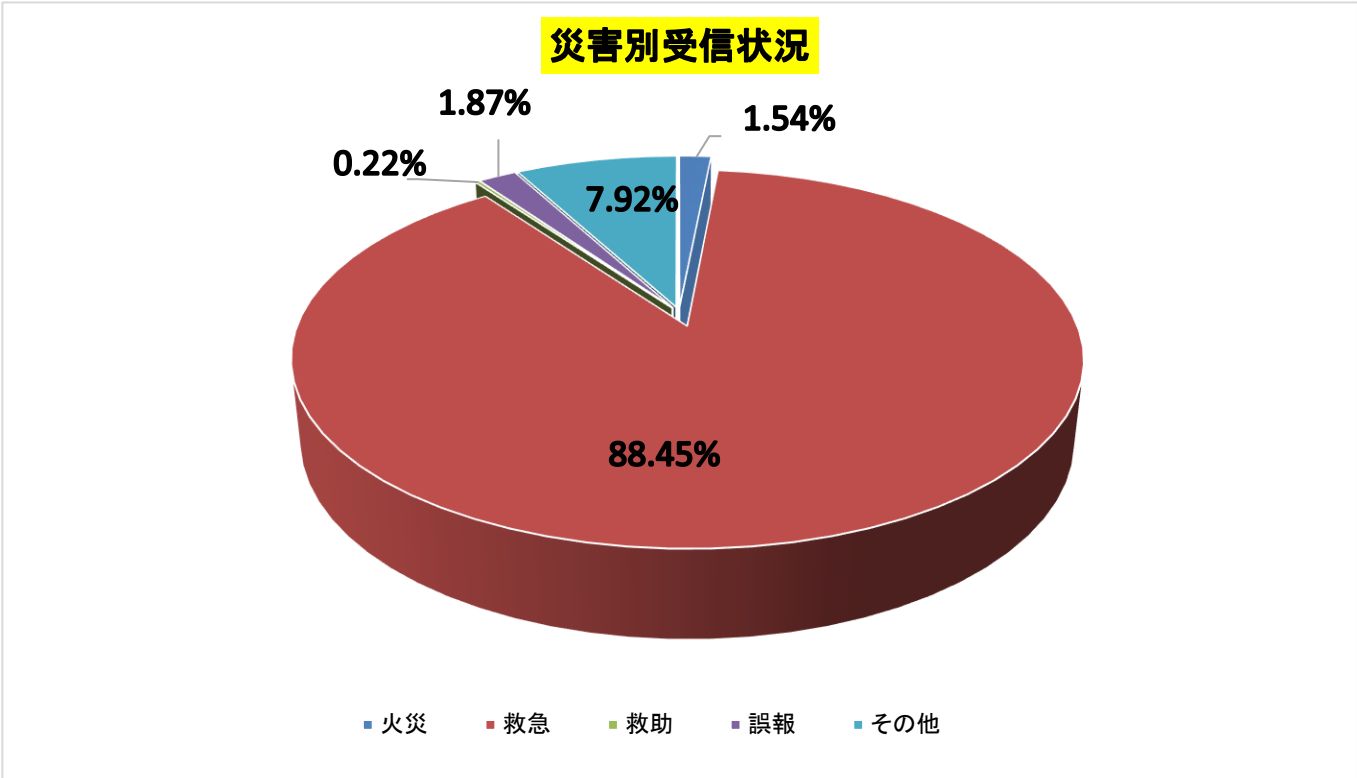


※その他～駆けつけ、自己覚知、公衆電話等

(2) 災害別 受信状況

令和 7 年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	4	0	1	0	1	3	0	1	1	0	0	14
救急	92	58	65	58	61	67	58	80	63	48	74	80	804
救助	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
いたずら	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
誤報	1	0	1	1	0	2	2	2	7	1	0	0	17
その他	6	10	11	3	7	11	6	7	2	7	2	0	72
合計	102	78	77	63	68	81	69	90	73	57	76	81	915



令和 7 年中における緊急通報の受信総件数は1,383件で1 日約3.7件となり、前
年の1,342件に比べ41件の増加となっています。
災害通報は、火災が14件、救急が804件で全体の約89%を占めています。
また、誤報、いたずら等の目的外通信が23件で約 2 %となっております。

消 防 団



1 歴代消防組頭・警防団長・消防団長

(令和8年4月1日現在)

代	氏 名	期 間		備 考
		自	至	
1	櫛 山 亮 則	大 正 9 年 7 月 6 日	昭 和 14 年 5 月 25 日	鹿児島県消防議会委員
2	川 畑 孝 市	昭 和 14 年 5 月 25 日	昭 和 26 年 9 月 30 日	鹿児島県消防協会理事
3	寺 田 藤 吉	昭 和 26 年 10 月 1 日	昭 和 34 年 3 月 31 日	
4	宮 原 剛	昭 和 34 年 4 月 1 日	昭 和 38 年 3 月 31 日	
5	東 賢 吉	昭 和 38 年 4 月 1 日	昭 和 41 年 2 月 10 日	
6	浜 畑 熊 則	昭 和 41 年 2 月 11 日	昭 和 46 年 3 月 31 日	鹿児島県消防協会常議員
7	鵜 飼 直 忠	昭 和 46 年 4 月 1 日	昭 和 50 年 2 月 3 日	2月4日～4月14日団長不在
8	松 山 一 男	昭 和 50 年 4 月 15 日	昭 和 58 年 5 月 22 日	鹿児島県消防協会理事 (S55. 4. 1～S57. 3. 31)
9	池 松 秋 男	昭 和 58 年 5 月 23 日	平 成 3 年 5 月 25 日	鹿児島県消防協会常議員
10	井 川 直 行	平 成 3 年 5 月 25 日	平 成 7 年 4 月 30 日	鹿児島県消防協会常議員
11	森 山 政 幸	平 成 7 年 5 月 1 日	平 成 19 年 3 月 31 日	鹿児島県消防協会常議員
12	川 畑 安 正	平 成 19 年 4 月 1 日	令 和 5 年 3 月 31 日	鹿児島県消防協会評議員
13	田 村 眞 一	令 和 5 年 4 月 1 日	在 任 中	鹿児島県消防協会評議員

2 垂水市消防団の出動区分

(1) 第1次出動

(ア) 地元分団 消防車両及び小型動力ポンプ

(イ) 連絡 地元サイレン吹鳴

(2) 第2次出動

(ア) 応援出動を命じた分団の消防車両

(イ) 連絡 応援分団に対しては、電話、その他の方法で連絡応援分団のサイレンの吹鳴

(3) 第3次出動

(ア) 全分団の消防車両並びに小型動力ポンプ隣接市町村応援消防隊

(イ) 連絡 電話等及びサイレン吹鳴

3 災害時消防団配置

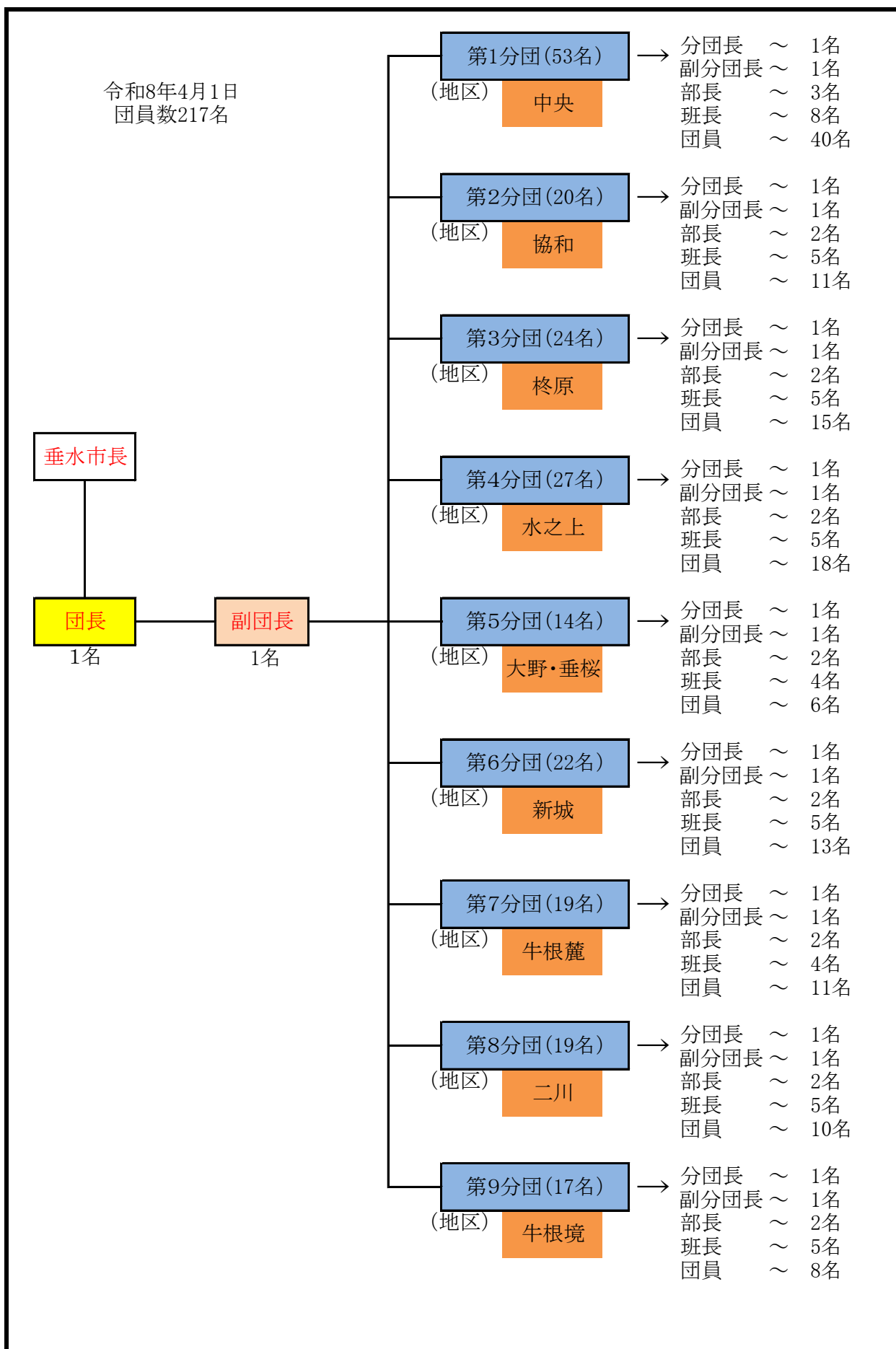
一次配備 団長・副団長 地元分団待機

二次配備 団長・副団長 消防本部待機

(令和8年4月1日現在)

					一次配備	二次配備	三次配備
分団名	定員	現団員数	部長以上	班長	正・副機関員 部長以上	一次に班長	全団員
1分団	70	53	5	8	7	15	全団員
2分団	34	20	4	5	6	11	〃
3分団	31	24	4	5	6	11	〃
4分団	32	27	4	5	6	11	〃
5分団	21	14	4	4	6	10	〃
6分団	36	22	4	5	6	11	〃
7分団	25	19	4	4	6	10	〃
8分団	30	19	4	5	6	11	〃
9分団	30	17	4	5	6	11	〃

4 垂水市消防団編成表



5 分団別消防ポンプ自動車

(令和8年4月1日現在)

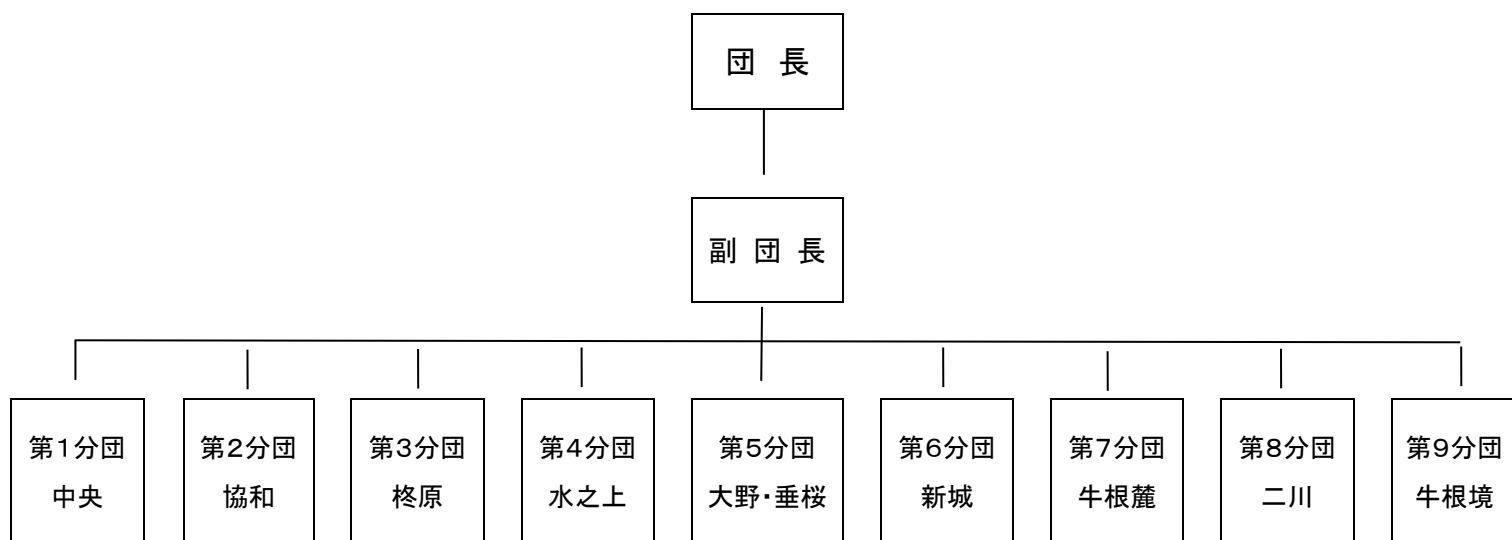
配 置	車 両 名	車 種	車 両 年 式	排気量(cc)	ポンプ形式及び構造	ポンプ級別
消 防 団	第1分団車	日 野	H24年11月	4,000	GMいちほら高圧 バランスタービンポンプ	A2
	第2分団車	日 野	H27年2月	4,000	日機高圧2段バランス タービンポンプ	A2
	第3分団車	日 野	H20年10月	4,000	モリタ高圧2段バランス タービンポンプ	A2
	第4分団車	日 野	H23年3月	4,000	日機高圧2段バランス タービンポンプ	A2
	第5分団車(大野)	トヨタ	H28年11月	4,000	水槽付小型 ポンプ積載車	-
	第5分団車(垂桜)	日 産	H4年11月	4,160	小川高圧2段バランス タービンポンプ	A2
	第6分団車	日 野	H26年11月	4,000	日機高圧2段バランス タービンポンプ	A2
	第7分団車	日 野	H25年11月	4,000	モリタインデューサー付1段 ポリュートアルミポンプ	A2
	第8分団車	日 野	H24年11月	4,000	GMいちほら高圧 バランスタービンポンプ	A2
	第9分団車	日 野	H23年3月	4,000	日機高圧バランス タービンポンプ	A2

6 分団別小型動力ポンプ

(令和8年4月1日現在)

分 団	配 置 場 所	機種	購入年月
第1分団	浜平器材庫	トーハツ	H25年7月
第2分団	第2分団車庫	シバウラ	H26年11月
第3分団	第3分団車庫	シバウラ	R3年9月
第4分団	第4分団車庫	シバウラ	R4年11月
第5分団	第5分団車庫(大野)	トーハツ	H28年11月
〃	第5分団車庫(垂桜)	シバウラ	H21年8月
第6分団	第6分団車庫	ラビット	H15年12月
第7分団	第7分団車庫	トーハツ	H27年8月
第8分団	第8分団車庫	トーハツ	H16年6月
第9分団	第9分団車庫	シバウラ	H30年10月

7 垂水市消防団現勢



(令和8年4月1日現在)

地区別 区分		団 長	副 団 長	第 1 分 団 (中 央)	第 2 分 団 (協 和)	第 3 分 団 (柊 原)	第 4 分 団 (水 之 上)	第 5 分 団 (大 野・ 垂 桜)	第 6 分 団 (新 城)	第 7 分 団 (牛 根 麓)	第 8 分 団 (二 川)	第 9 分 団 (牛 根 境)	合 計
人 員	条例定数	1	1	70	34	31	32	21	36	25	30	30	311
	実員数 () 内は女性団員	1	1	53 (7)	20 (1)	24 (1)	27 (6)	14 (1)	22 (2)	19 (1)	19 (1)	17 (1)	217
機 械	消防ポンプ 自動車			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	小型ポンプ 積載車							1					1
	小型ポンプ			1	1	1	1	2	1	1	2	1	11

8 階級別団員数

(令和8年4月1日現在)

地区別 階級	団 長	副 団 長	第 1 分 団 (中央)	第 2 分 団 (協和)	第 3 分 団 (柊原)	第 4 分 団 (水之上)	第 5 分 団 (大野・垂桜)	第 6 分 団 (新城)	第 7 分 団 (牛根麓)	第 8 分 団 (二川)	第 9 分 団 (牛根境)	合 計
団 長	1											1
副 団 長		1										1
分 団 長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
部 長			3	2	2	2	2	2	2	2	2	19
班 長			8	5	5	5	4	5	4	5	5	46
団 員			40	11	15	18	6	13	11	10	8	132
合 計	1	1	53	20	24	27	14	22	19	19	17	217

9 勤続年数別団員数

(令和8年4月1日現在)

年数 階級	5 年 未満	5 ～ 10 年 未満	10 ～ 15 年 未満	15 ～ 20 年 未満	20 ～ 25 年 未満	25 ～ 30 年 未満	30 年 以上	人員計	平均年数
団 長							1	1	42.0
副 団 長							1	1	42.0
分 団 長						4	5	9	33.7
副分団長				4		1	4	9	27.9
部 長		1	3	5	2	3	5	19	22.3
班 長	1	6	16	11	5	2	5	46	16.4
団 員	40	51	18	9	3	7	4	132	9.1
合 計	41	58	37	29	10	17	25	217	13.8

※平均年数にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

1 0 年齢別団員数

(令和8年4月1日現在)

年齢 階級	21 歳 未満	21～ 25 歳	26～ 30 歳	31～ 35 歳	36～ 40 歳	41～ 45 歳	46～ 50 歳	51～ 55 歳	56～ 60 歳	61 歳 以上	人員計	平均 年齢
団 長										1	1	70.0
副 団 長										1	1	72.0
分団長									1	8	9	65.3
副分団長					1	1			1	6	9	59.8
部 長					1	1		1	3	13	19	59.5
班 長		1	1		2	4	14	9	7	8	46	49.9
団 員	5	4	8	9	22	34	13	11	6	20	132	44.4
合 計	5	5	9	9	26	40	27	21	18	57	217	48.6

※平均年齢にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

1 1 消防団出動状況

(令和7年度中)

区分 地区別	火災		風水害		演習 訓練		広報 指導		特別 警戒		その他 (会議・研修等)		合計	
	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員
団 長					3	3			2	2	8	8	13	13
副 団 長					2	2			2	2	7	7	11	11
第1分団(中央)					6	33	5	15	7	41	9	38	27	127
第2分団(協和)					16	60	5	13	7	24	9	21	37	118
第3分団(柊原)	1	2			8	43	5	12	7	30	11	41	32	128
第4分団(水之上)					17	77	6	18	7	35	11	46	41	159
第5分団(大野・垂桜)					22	61	4	8	7	24	7	23	40	116
第6分団(新城)					19	93	6	11	7	35	8	52	40	116
第7分団(牛根麓)	1	9			12	81	5	12	7	17	8	30	33	149
第8分団(二川)					7	28	6	21	7	25	5	15	25	89
第9分団(牛根境)					14	114	5	10	7	23	6	22	32	169
合 計	2	11			126	595	47	120	67	258	89	303	331	1629

1 2 消防団員教養状況

(令和8年4月1日現在)

年度 種別		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
県 消 防 学 校	基 礎 教 育		5	6	6	7	6	6	6	6	6	6	10	11	15		4	10	7	6	7
	機 関 科			2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	2			3	4	3	3
	初 級 幹 部 科		4	2	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1		2	2	2	4	4
	中 級 幹 部 科																				
	指 導 員 科																				
	指 揮 幹 部 科	現場指揮										1	1	1	2	2	2	2	1	2	2
分団指揮											1	1	1	2	2	2	2	2	2		2
合 計			9	10	10	10	9	9	10	10	12	12	16	20	22	4	10	18	17	15	18

※令和2年度の学校入校については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により大半が中止となったもの。

1 3 消防団員の報酬及び手当

(1) 消防団員の報酬 (年額)

階 級	報 酬 額
団 長	140,000 円
副 団 長	95,000 円
分 団 長	73,000 円
副 分 団 長	52,500 円
部 長	45,000 円
班 長	42,500 円
団 員	40,500 円

(令和8年4月1日現在)

(2) 出動報酬及び技術報酬

区分	災害 (水火災 又は地震等) (1 日)	警戒、訓練等 (1 日)	会議、研修、 広報等 (1 日)	機関員技術報酬 (年額)		
				自動車 正機関員	自動車 副機関員	小型ポンプ 機関員
支給額	8,000 円	4,500 円	4,000 円	20,000 円	5,000 円	3,000 円

(令和8年4月1日現在)